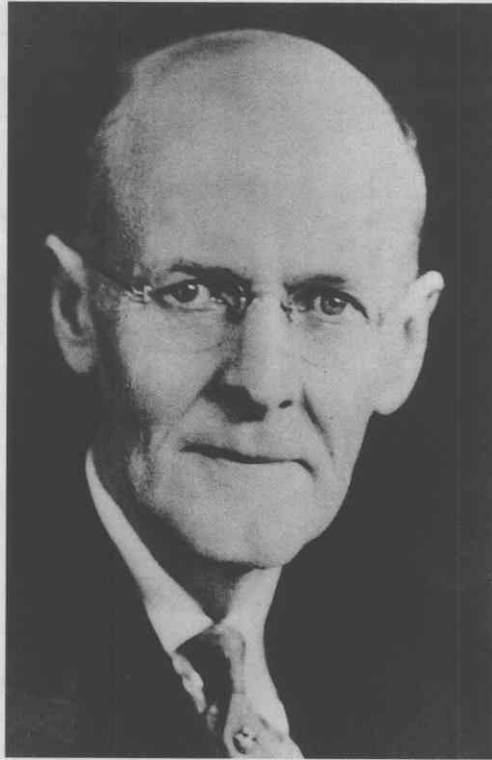


創立40周年 記念誌

2000年
宮崎西ロータリークラブ



ロータリー創始者 ポールP. ハリス

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある；

1. 奉仕の機会として知り合いを広めること；
2. 事業および専門職務の道徳的水準を高めること：あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること；
3. ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
4. 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること；



四つのテスト

言行はこれらに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

ロータリーの誕生とその成長

今から85年前の1905年、そのころ経済恐慌で人心の荒れすさんでいたアメリカ社会、特にシカゴの状態を憂えた、青年弁護士ポールP. ハリスが3人の友人と語らって2月23日、第1回の会合を開いたのが、ロータリークラブの誕生であります。ロータリーとは、会員が持ち回りで順番に、集会を各自の事務所で開いたことから名付けられました。このクラブは着実に成長し、現在172の国家および地域に広められ、クラブ数25,244、会員総数は1,110,576人に達しています。これらクラブをメンバーとして国際ロータリーが構成されています。

国際ロータリーの最近の主要事業としては、地球上からポリオその他の伝染病をなくすため、約2億1,700万ドルを拠金、全世界の児童の予防接種を勧めていることがあげられます。またロータリー財団を設けて、世界有数の国際奨学金事業を実施しています。

日本のロータリー

わが国のロータリークラブは1920年（大正9年）10月20日、当時三井銀行の重役であった米山梅吉氏が、初めて東京にこれを創立し、翌10年4月1日、世界で855番目のクラブとして加盟承認されました。その後第二次世界大戦の結果、一時国際ロータリーから脱退するのやむなきに至ったこともありましたが、その間もよくロータリーの精神を堅持して会合に務め、その神髄と組織を維持し、戦後国際ロータリーに復帰するや、ますます発展、現在では北は北海道、南は沖縄まで、クラブ数1,928会員数115,943人に達し、なおすべての都市、すべての町にその理想の翼を広げる努力を続けております。会員は地域内の理想にもえる堅実な実業家、専門職業人の中から定款により、1業種1人を選び、週1回のクラブ例会出席によって、各種職域人の交友を通じて地域社会へのより多くの奉仕の機会を得ようとはかっております。

目 次

発刊のことば	小林 貞雄	5
チャーターメンバー		6
歴 代 会 長		6
10年間の物故会員		11
創立40周年記念式典・祝賀会プログラム		12
会長挨拶	小林 貞雄	13
来賓祝辞	井ノ上 繁	14
出席者名簿		16
記念事業について	大江 幸政	17
表 彰		18
祝賀会 記念大会会長挨拶	竹内 三郎	19
記念ゴルフ大会		25
10年間の歴代会長時代・主な出来事		26
10年間のクラブ概況の推移		36
米山功労者・ロータリー財団寄付者一覧表		37
ダリヤ賞の制定		40
ダリヤ賞受賞者一覧		41
ダリヤ賞表彰事由		41
社会奉仕基金運営委員会規程		46
10年間の主立った出来事と昔の思い出		
地区大会について	竹内 三郎	47
バングラデシュに診療所建設	竹内 三郎	50
ピロジヤリ村に診療所を建設	田崎 博俊	54
ローターアクトクラブ創立回想	菊地 平	57
GSEリーダーとして	日高 照雄	59
交換留学生のホームステイ	高見 忠典	63
第2ホストファミリーとして	大江 幸政	66
2人の留学生	前田 暢俊	67
ライオンのホームステイ	植松 孝一 真弓	69
初代会長「田崎亀夫」の思い出	田崎 高伸	71
西クラブ創立の思い出と所感	宮下 廣計	73
インターネット・ホームページ	田崎 博俊	75
「ロータリーの友」に掲載されて	田崎 博俊	76
会 員 名 簿		77
創立40周年記念大会実行委員会組織図		93
編 集 後 記		94

発刊のことば

宮崎西ロータリークラブ会長

小林 貞雄



記念すべき2000年のミレニアムの年に、我が宮崎西ロータリークラブは創立40周年を迎えました。過日、ご来賓、県内外のロータリアンの皆様方に多数ご来臨を賜り、盛大なる記念式典を挙行できましたことは、誠に光栄に存じ、感激一入りであります。

昭和35年4月、県下6番目のクラブとして産声をあげて以来、いつの時代も会員一同、相互の親睦を深めながら、崇高な奉仕理念を常に胸の奥深くに携え、活力ある地域の発展に、また、国際親善への寄与に尽力してまいりました。この伝統精神は、我々の誇るべき、またこれからも大切に守り、受継ぐべきロータリー精神の神髄であります。

95年前、アメリカはシカゴにロータリークラブは誕生しましたが、創始者ポール・P・ハリスの唱えた綱領は、一世紀経とうとしている今なお、ますます輝きを増して世界中のロータリアンひとりひとりの胸に脈々と息づいています。

各地で発足したそれぞれのクラブにおいて、称賛に値する献身的な社会奉仕活動が展開されていますが、これまで、当クラブの諸先輩方が残してこられました数々の業績に対ししても、高い評価を広くいただいております。

その功績の足跡は、それぞれの節目に編纂された周年史にしかと記されておりますが、そのご活躍ぶりを振り返るにつけ、深い感銘を受けますとともに、先輩方の威徳を礎に我々もまた、豊かで希望溢れる次世代を切り開くリーダーたるべく意を新たにす次第であります。

現今におきましても、文化、福祉、奨学等、各分野において、最も地域の現状に即した形での支援活動に持てる意志と力を傾注してまいりましたが、これらが地域社会の中において、未来への大きな展望に繋がれば、これに勝る喜びはありません。

21世紀は足早に目前へと到来しています。誰しもが大いなる希望を胸に秘め、期待を膨らませていることでしょう。そのような中で我々ロータリアンに課せられた使命が何であるのかは、この胸に自ずと響いてまいります。

この創立40周年という節目は、当クラブが幾久しく刻んでいくであろう歴史の通過点であると受けとめておりますが、これを契機に更なる奉仕の理想を求め、友情の輪を広げ、地域社会の発展と世界平和を願いつつ、力を注いでまいり所存でございます。皆様方には一層のご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

末筆となりましたが、本記念誌発刊にあたり、並々ならぬご尽力を賜りました金丸委員長を初め関係各位の皆様方には心から感謝を申し上げ、また会員各位のますますのご健勝とご活躍を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

チャーターメンバー



堀 久



宮下 廣計

歴代会長



初代(昭和35年)
田崎 亀夫



2代(昭和36年)
栗林 東五



3代(昭和37年)
佐原 伝次郎



4代(昭和38年)
住田 静一



5代(昭和39年)
菊池 稔



6代(昭和40年)
長峰 市次



7代(昭和41年)
竹野 融



8代(昭和42年)
大古殿 和丸



9代(昭和43年)
植松 熊太郎



10代(昭和44年)
吉賀 幸夫



11代(昭和45年)
橋本 一郎



12代(昭和46年)
竹内 三郎



13代(昭和47年)
郡 嗣彦



14代(昭和48年)
川邊 政明



15代(昭和49年)
日高 文雄



16代(昭和50年)
田中博規



17代(昭和51年)
菊池彰



18代(昭和52年)
安倍友彦



19代(昭和53年)
平山輝男



20代(昭和54年)
宮下廣計



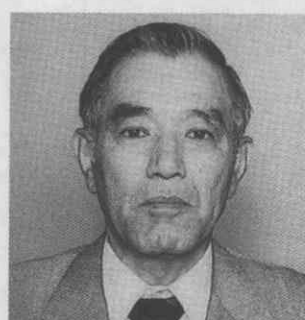
21代(昭和55年)
橋本善吉



22代(昭和56年)
堺久



23代(昭和57年)
鈴木敏道



24代(昭和58年)
菊池皓一郎



25代(昭和59年)
岩井隆一



26代(昭和60年)
小川次男



27代(昭和61年)
日高照雄



28代(昭和62年)
内村龍祐



29代(昭和63年)
佐原正晃



30代(平成1年)
阿南育男



31代(平成2年)
重城寿雄



32代(平成3年)
新恵誠



33代(平成4年)
浜砂猛敏



34代(平成5年)
松本 廣行



35代(平成6年)
市来 斉



36代(平成7年)
志多 克彦



37代(平成8年)
村上 四朗



38代(平成9年)
前田 暢俊



39代(平成10年)
吉田 多毅



40代(平成11年)
小林 貞雄

(平成12年5月1日現在)

10年間の物故会員

物故された会員に対して謹んで追悼の意を表します。



橋本 一郎
H3年3月4日ご逝去



竹野 融
H4年8月24日ご逝去



川邊 政明
H4年10月8日ご逝去



黒木 満夫
H5年9月20日ご逝去



角地 次男
H6年4月1日ご逝去



植松 孝
H6年5月9日ご逝去



長峰 市次
H8年1月9日ご逝去



住田 静一
H8年6月2日ご逝去



松本 廣行
H9年2月25日ご逝去



日高 常一
H9年10月15日ご逝去



岩井 隆一
H11年4月3日ご逝去



安倍 友彦
H11年11月9日ご逝去



創立40周年記念式典・祝賀会

■と き：平成12年4月7日

■と ころ：ホテルフェニックス

式典・高千穂の間(3F)

16:00……………登録受付・開場

17:00……………開会、点鐘

国歌斉唱

ロータリーソング合唱

「奉仕の理想」

物故会員スライド紹介

黙 禱

会長挨拶

西 R C 小 林 貞 雄

来賓祝辞

RI第2730地区ガバナー

井ノ上 繁 様

記念事業発表

表彰・記念品贈呈

17:30……………閉会、点鐘

祝賀会・高千穂の間(3F)

17:45……………開 場

17:50……………歓迎の挨拶

西 R C 竹 内 三 郎 大会会長

乾 杯

RI第2730地区バストガバナー

池 田 卓 郎 様

18:00……………祝 宴

※メモリアルフォトライブラリー

※メモリアルBAR開店

※ヒストリーライブ

19:25……………ロータリーソング

「手に手つないで」

19:30……………お礼の挨拶

西 R C 菊 地 平 会長エレクト

閉 会



創立40周年記念式典

会長挨拶

宮崎西ロータリークラブ 会長

小林 貞雄

ご挨拶申し上げます。本日ここに宮崎西ロータリークラブ創立40周年記念大会を皆様方にご案内申し上げましたところ、公私共にご多忙な中にも拘らず、井ノ上 繁ガバナールーをはじめ、多数の方々のご臨席を賜りましたことは誠に光栄に存じ、会員を代表し心から厚く御礼申し上げます。

私共宮崎西ロータリークラブは、ご承知の通り昭和35年4月8日、宮崎市内2番目のクラブとして創立、初代田崎亀夫会長以下25名の会員でスタートいたしました。

永き歴史を経て、本日40周年の佳き日を迎える運びとなりましたが、チャーターメンバーの中で、今尚塚 久会員、宮下 廣計会員が御元気に活躍中でいらっしゃいますことは、誠に喜ばしい限りでございます。

当クラブには創立以来、伝統的に親睦と深い友情の上になって、その奉仕の精神を高めてきたという誇るべき歩みがあります。

現在会員数は80名に成長致しましたが、この40周年という節目は、これから刻むであろう遥かなる歴史の通過点として受け止め、更にロータリー活動の原点である奉仕の精神の高揚に努めて参る所存でございます。

今年は西暦2000年、そしてテーマも「ロータリー2000、活動は堅実、信望、持続」と、ロータリー精神を日本的に解りやすく表現しております。この目標に向かって更なる発展を遂げたいとおもいます。

また今回、社会奉仕基金制度を利用した記念事業を設定いたしました。これまでも力を注いでまいりました文化活動、福祉活動、奨学援助等をはじめ、幅広い社会奉仕活動を継続実施していくことが全会員の確かな願いでございます。今後私共は、諸先輩方が築き上げてこられた輝かしい伝統を守り、その素晴らしい奉仕の理想を次なる時代へと引き継いでいきたいとの信念のもと、一同、専心努力をいたしたいと存じます。

終わりにあたり、ご多忙の中、本日の式典にご出席賜りました皆様方に心からお礼を申し上げ、一層のご健勝とご多幸を祈念いたしまして御礼のご挨拶とさせていただきます。

来賓祝辞

国際ロータリー第2730地区

ガバナー

井ノ上 繁



宮崎西ロータリークラブが創立40周年をお迎えになって誠にありがとうございます。

公式訪問で伺いましたのが、つい昨日のような気がいたします。親睦の西クラブ、私の記憶には三役慰労会、生ビールを飲もう会、観月家族会、年末家族会、元気なお年齢を祝う会、観桜会、新入会員歓迎会など、何と飲み方の多いクラブの印象と世界社会奉仕の分野で、バングラディッシュに病院を造り、更に同額補助金を使って医療機器を送られています。

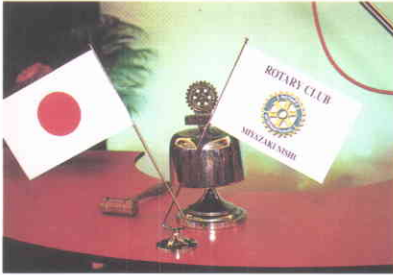
地区大会で、このため私はR I 会長代理から随分ほめられました。

貯金を2,700万円持っていらっしゃるのにも舌を巻きましたが、あれから何かお使いになりましたか。他人様の懐ながら大いに気になります。

何はともあれ、40周年を迎え、明日への更なる大飛躍を祈念して止みません。

春宵一刻値千金、鹿児島では良か晩なあと云います。





出席者名簿

RI 第 2730 地区ガバナー 井ノ上 繁	RI 第 2730 地区ガバナーエレクト 安満 良明
RI 第 2730 地区バスターガバナー 岩澤光男・照子	RI 第 2730 地区ガバナーノミネー 大淵 達郎
RI 第 2730 地区バスターガバナー 池田 卓郎	宮崎県南部分区代理 吉元 鉄夫
RI 第 2730 地区バスターガバナー 三重野 良輔	宮崎県中部分区代理 築瀬 貢
RI 第 2730 地区バスターガバナー 凶師 鎮雄	宮崎西フェニックスオーシャンRAC 原口 博巳
RI 第 2730 地区バスターガバナー 鮫島 哲也	山口 健二
	長田 博之

延岡中央RC…谷山光永 山崎國弘 山崎郁夫 緒方節生
高藤 誠

門川RC…田原正雄

宮崎RC…定永正明 富山祝次 猪野真稔

宮崎北RC…金丸山次 満窪和貴 清水秀俊

宮崎南RC…佐原弘康 横山勝徳 丸山一郎 安藤武典

宮崎中央RC…渡辺 豊 江島 寛 三輪修珍

宮崎東RC…川中普佐夫 細木章稔 長友秀一

佐土原RC…福井輝文 吉田康一郎 梶田與之助 伊東忠寛
山脇 忍

西都RC…池田洋文 鳥枝 英一

高鍋RC…長友眞理 桑野倫夫 井上博功 黒木敏之
増田 哲

日南RC…土屋昭次

日南中央RC…長濱和徳 田脇憲次

小林RC…坂元宣雄 宇城秀昭 坂下利博 富永記久男

都城RC…松山篤博

都城中央RC…時任保彦 東 篤徳

宮崎西RC…会員 80 名

(順不同)

(敬称略)



記念事業発表 大江記念事業委員長



記念事業その1

我が宮崎西ロータリークラブは、1960年創立以来、私達の住む地域にささやかでも役立ちたいと、あらゆる奉仕活動を展開してまいりました。しかし、近年、急激な社会の変化は我々ロータリーの奉仕活動を大きく多様化させ、我がクラブに於いても1997年よりWCSプロジェクトの一環として、竹内パストガバナー提唱によるバングラデシュの医療改善に取り組んでまいりましたが、今回宮崎西ロータリークラブ創立40周年にあたり、その記念事業として“バングラデシュに病院建設並びに医療機器を贈呈”いたします。

尚、総工費720万円のROTARY CLINICに関しては、延岡中央ロータリークラブをはじめ諸団体のご支援のもと、バングラデシュ・ピロジャリ村に昨年開設。村の医療の拠点として活動を始めており、今回は、総額450万円相当の、次の医療機器を現地に贈呈いたします。

- 1. 顕微鏡
 - 1. 血液分析装置
 - 1. 小型遠心機
 - 1. オートクレーブ
 - 1. 超音波診断装置
- その他、スペアパーツ等

記念事業その2

工業技術の発展に支えられる現代の社会は、我々人類に豊かさをもたらした反面、地球温暖化やオゾン層破壊と、確実に自然を破壊しております。しかし、地球上の自然は、あらゆる生物が地球上に存在する根本的な基礎であり、人類だけが、その欲しいままの欲望を充足するために存在するものではありません。

しかるに我々人類は、過去における無秩序な破壊の修復と、今後における厳重な保全を継続する事は、人類がその存在を続けるために課せられた基本的責務であり、我がクラブに於いても、永年にわたる古紙回収等、環境保全事業に取り組んでまいりましたが、今回宮崎西RC創立40周年にあたり、その記念事業として、総額500万円の“記念樹を、宮崎市保健所敷地内に植樹”いたします。



表彰

1.チャーターメンバー

堺 久 会員
宮 下 廣 計 会員

2.30年以上在籍会員

秋 山 久 会員
内 村 龍 祐 会員
菊 池 皓一郎 会員
佐 原 正 晃 会員
鈴 木 敏 道 会員
竹 内 三 郎 会員
西 岡 恒之助 会員
橋 本 善 吉 会員
日 高 照 雄 会員
日 高 文 雄 会員
吉 賀 幸 夫 会員



創立40周年記念祝賀会

歓迎の挨拶

40周年記念大会会長

竹内三郎

我が宮崎西ロータリークラブがこの度創立40周年を迎える事になりました。

本日創立記念式典開催のご案内を申し上げましたところ、会員はもとより第2730地区井ノ上 繁ガバナーをはじめ近隣各クラブから多数のロータリアンの皆様、ご多忙の中を御来会戴き誠に有り難うございます。

ここで当クラブ設立当時の我が国のロータリーの状況について簡単に申し上げますと、戦前主要都市にありましたクラブが軍の弾圧により、自ら離脱解散致しました。その後終戦により、念願がなあって1949年、東京クラブが再復帰、次いでかつて存在したクラブが次々にR.I.の組織に加入しました。

当時の先輩クラブの皆さんはロータリーの持つ不思議な魅力のもと、友情を楽しみ又ロータリーの本質に対し情熱をもって追求、一方では増強、拡大に盡力されました。私達のクラブ設立(1960年)までの僅か11年間に365クラブの創設をみるにいたり、日本のロータリーは「輝ける世界の星」と言われるようになりました。

当クラブの初期のメンバーの皆さんもロータリーとは、そのあるべき姿を熱心に追求、情報収集に積極的に地区内外の会合に参加し、また例会でも頻回にその運営についてフォーラム等を開いて検討されました。そして現在の親睦協調性豊かな、また多彩な奉仕活動実践のクラブの伝統をつくって頂きました。

40周年を契機に先輩会員のつくられた歴史を振り返り、更なる発展のため情熱を持って、活力あるクラブに向かって前進することを念願するものであります。

最後になりましたが御来賓の皆様には誠に粗酒粗肴ではありますがご寛容戴きましてゆっくり御懇談いただければ幸いと存ずる次第であります。

本日は御来会誠に有り難うございました。



乾杯

国際ロータリー第2730地区
パストガバナー

池田卓郎









お礼の挨拶

会長エレクト

菊地 平



宮崎西ロータリークラブゴルフ会主催 創立40周年記念ゴルフ大会

日時：平成12年4月9日（日）

場所：ハイビスカス ゴルフクラブ



《プライベートコンペ順位表》

順位	氏名	アウト	イン	グロス	ハンディ	ネット
1	前畑 智之	44	39	83	16.0	67.0
2	大 藪 英治	43	38	81	13.0	68.0
3	日 高 三朗	46	43	89	20.0	69.0
4	松 原 和夫	40	43	83	10.0	73.0
5	増 田 秀文	45	50	95	20.0	75.0
6	植 松 孝一	41	47	88	12.0	76.0
7	柴 田 博文	46	43	89	12.0	77.0
8	小田原 義征	53	54	107	29.0	78.0
9	吉 田 多毅	45	47	92	13.0	79.0
10	矢 野 温三	49	44	93	14.0	79.0
11	宮 下 繁一郎	46	51	97	18.0	79.0
12	吉 田 信一郎	47	53	100	21.0	79.0
13	前 田 暢俊	46	44	90	10.0	80.0
14	森 重 勝雄	47	53	100	20.0	80.0
15	市 来 斉	48	54	102	22.0	80.0
16	上 園 哲朗	49	56	105	24.0	81.0
17	宮 下 廣計	54	53	107	26.0	81.0
18	神 崎 義世	54	52	106	23.0	83.0
19	田 崎 博俊	52	55	107	24.0	83.0
20	後 藤 一 臣	47	51	98	14.0	84.0
21	?	47	58	105	21.0	84.0
22	?	48	50	98	13.0	85.0
23	?	47	54	101	14.0	87.0
24	?	55	49	104	14.0	90.0
25	?	58	61	119	24.0	95.0

10年間のクラブ概況の推移と主な出来ごと

1990～1991年度



テーマ

ロータリーを高めよー思いを尽くし熱意を尽くし

R I 会長

パウロ V. C. コスタ



第31代会長 重城寿雄
幹事 田崎博俊

第2730地区ガバナー

今林重夫

分区代理 関師鎮雄

会員数 78名

入会者 5名

退会者 5名

公式訪問 9月7日

地区大会

11月10日～11日（指宿市）

主な出来ごと

1990.7～1991.6

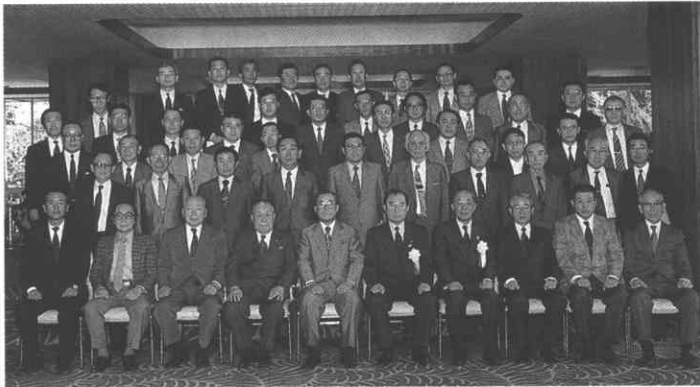
- 7月 神戸の女子高生が教師のしめた門扉に挟まれ死亡。
- 8月 イラク軍がクウェートに侵攻、湾岸戦争始まる。
- 10月 45年ぶりに東西ドイツ統一。
- 11月 野茂投手、MVP・沢村賞など8冠を総なめにした。
- 12月 柔道に天才少女出現。15歳の田村亮子48キロ級で優勝(福岡国際)。
- 12月 秋山豊寛さん日本人初の宇宙飛行に成功。
- 2月 皇太子徳仁親王が立太子礼(皇位継承者である事を内外に披露)。
- 4月 牛肉、オレンジの輸入自由化を実施。
- 6月 雲仙普賢岳で大規模な火砕流が発生、43人死亡。

1991～1992年度



テーマ
自分を越えた眼を

R I 会長
ラジェンドラ. K. サブー



第32代会長 新恵 誠
幹事 川野良博
第2730地区ガバナー
井上日出男
分区代理 福岡良朗
会員数 78名
入会者 8名
退会者 3名
公式訪問 10月25日
地区大会
11月9日～10日（延岡市）

主な出来ごと

1991.7～1992.6

- 7月 イトマン事件で許永中CTCグループ会長ら6人を逮捕。
- 8月 東京での世界陸上選手権100メートル走でカール・ルイス9秒86世界新記録で勝つ。
- 9月 100歳の双子姉妹、きんさんぎんさんが「デビュー」。
- 10月 秋篠宮家に長女「眞子」様が誕生。
- 12月 原子力船「むつ」引退。
- 12月 ソ連邦が消滅。
- 1月 風間深志が史上初のバイクで両極点到達に成功。
- 3月 「のぞみ」デビュー。最高時速270キロ、東京ー新大阪間2時間30分に！
- 4月 ロックシンガー尾崎豊、26歳の突然死。

1992～1993年度



テーマ

まことの幸福は人助けから

RI会長

クリフォードL. ダクターマン



第33代会長 浜砂猛敏
幹事 林 務
第2730地区ガバナー

本坊蔵吉

分区代理 奏喜八郎

会員数 83名

入会者 10名

退会者 9名

公式訪問 7月24日

地区大会

11月7日～8日（鹿児島市）

主な出来ごと

1992. 7～1993. 6

7月 バルセロナ五輪200平決勝で14歳の岩崎恭子が優勝。

8月 中国と韓国が国交樹立。

9月 学校週5日制スタート。

10月 天皇、皇后が中国を初めて訪問。

11月 日本サッカーがアジア杯を制覇。MVPに三浦知良。

1月 クリントン、第42代米大統領に就任。

4月 カンボジアで国連ボランティアとして活動中の中田厚仁さんが殺害される。

4月 天皇、皇后、歴代天皇初の沖縄訪問。

5月 超人気。サッカー・Jリーグ開幕。

6月 皇太子と小和田雅子さんが「結婚の儀」。

1993～1994年度



テーマ
行動に信念を 信念は行動に

RI会長
ロバートR. バース

第34代会長 松本廣行
幹事 日高常一
第2730地区ガバナー

三重野良輔

分区代理 甲斐定幸
会員数 84名
入会者 11名
退会者 8名
公式訪問 11月19日
地区大会 11月13～14日 (宮崎市)

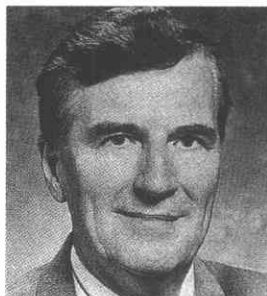


主な出来ごと

1993. 7～1994. 6

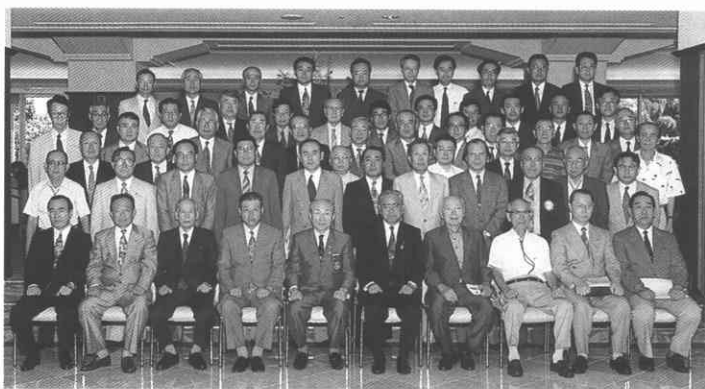
- 7月 北海道南西沖地震、死者・行方不明者231名(青苗地区で被害甚大)。
- 8月 特別国会で首相に細川護熙、衆院議長に土井たか子を指名(連立時代の始まり)。
- 8月 東京湾の「レインボーブリッジ」が開通。
- 9月 米不足のため、政府はタイ米の緊急輸入決定。
- 11月 ロス近郊で山火事。スターの邸宅が並ぶマリブの被害は甚大で、約200戸が焼失。
- 12月 田中角栄元首相が死去。
- 1月 東京・昭島市の夫婦が「悪魔」という名の出生届認めよと東京家裁に申し立て。
- 4月 宮崎県立五ヶ瀬中学高校が開校、公立の全寮制中高一貫校。
- 5月 イタリアのF1レースでブラジルのアイルトン・セナが壁に激突して死亡。
- 5月 英仏間の海底でユーロトンネルが開通。
- 6月 松本サリン事件。松本市の住宅街で有毒ガス発生、7人死亡。

1994～1995年度



テーマ
友達になろう

RI会長
ウィリアム・H・ハントレー



第35代会長 市来 斉
幹事 衛藤清隆
第2730地区ガバナー

佐々木典綱

分区代理 高山昭康

会員数 87名

入会者 6名

退会者 7名

公式訪問 8月19日

地区大会

11月12～13日（鹿児島市）

主な出来ごと

1994. 7～1995. 6

7月 日本人女性初の宇宙飛行士、向井千秋さんが「スペースシャトル」で宇宙へ。

7月 北朝鮮「最後のカリスマ」金日成急逝！（82歳）

8月 「気象予報士」の第1回国家試験、合格者は18%（2,777人中）。

9月 初の24時間空港、関西国際空港が開港。

9月 政府、消費税5%など税制改革大綱を決定。

11月 貴乃花、横綱に昇進。

全国で空前の渇水被害。

1月 阪神・淡路大震災、死者・行方不明者6,308人：負傷者4万人以上。

3月 同時多発的な「地下鉄サリン事件」死者12人、重軽傷者5,500人。

5月 ドジャースの野茂英雄投手、初先発（この年13勝6敗でナリーグ新人王に）。

1995～1996年度



テーマ

真心の行動 慈愛の奉仕 平和に挺身

RI会長

ハーバート・G・ブラウン

第36代会長 志多克彦

幹事 山口賢一郎

第2730地区ガバナー

竹内三郎

分区代理 井手徳文

会員数 86名

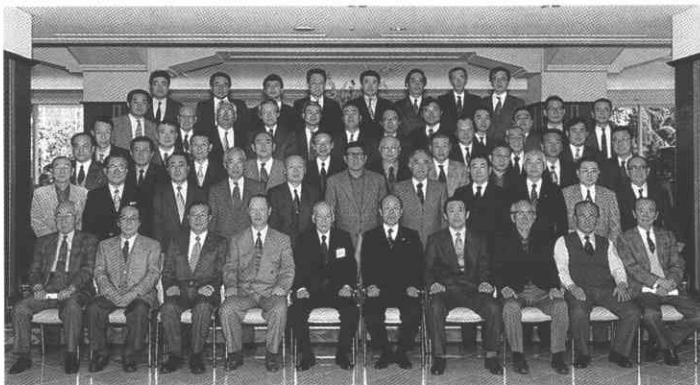
入会者 10名

退会者 7名

公式訪問 1月12日

地区大会

11月25～26日 (宮崎市)



主な出来ごと

1995.7～1996.6

7月 ウィンブルドン選手権シングルスで松岡修造、伊達公子がそれぞれベスト8に入る。

8月 「ウィンドウズ95」が世界各地で発売。

11月 大相撲で史上初の兄弟優勝決定戦で兄・若乃花が弟・貴乃花を破って優勝。

12月 キューバのカストロ議長が突然の初来日。

1月 大手スーパー各社が元旦からの営業を始める。

2月 北海道、豊浜トンネルで崩落事故。20人死亡。

3月 英国で狂牛病騒ぎ、人間にもうつる。

4月 旭化成、柔道の中村三兄弟がそろってアトランタ五輪の代表に決定。

6月 新食糧法施行、米の自由販売がスタート。

1996～1997年度



テーマ

築け未来を 行動力と先見の眼で

RI会長

ルイス・ビセンテ・ジアイ

第37代会長 村上四朗

幹事 前畑智之

第2730地区ガバナー

海江田順三郎

分区代理 日高安徳

会員数 89名

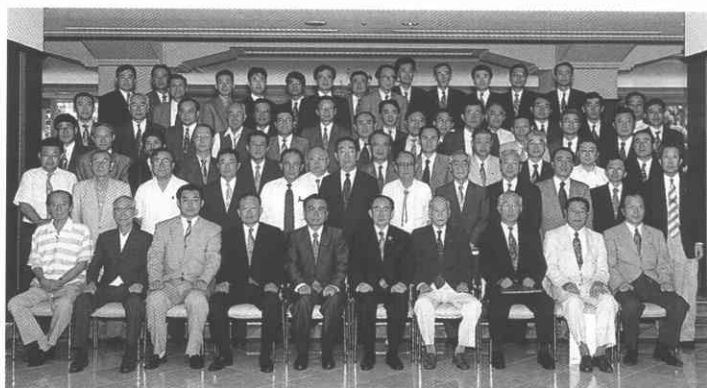
入会者 5名

退会者 8名

公式訪問 7月26日

地区大会

11月23～24日（鹿児島市）



主な出来ごと

1996.7～1997.6

7月 大阪で「O157」による集団食中毒が発生。

7月 「住宅金融債権管理機構」が正式に発足。

10月 生保・損保の営業相互乗り入れがスタート。

11月 バンダイ、携帯ゲーム「たまごっち」を発売。

12月 ペルーでゲリラが日本大使公邸を占拠。

1月 ロシアのタンカー「ナホトカ号」が沈没。重油約6,000キロリットル流出。

4月 消費税が5%に。公共料金一斉に価格に転嫁。

4月 タイガーウッズ21歳が最年少でマスターズを制覇。

6月 WBA世界ヘビー級ボクシング選手権でタイソンが耳に噛みつく。

6月 神戸児童連続殺傷事件(酒鬼薔薇聖斗)。

1997～1998年度



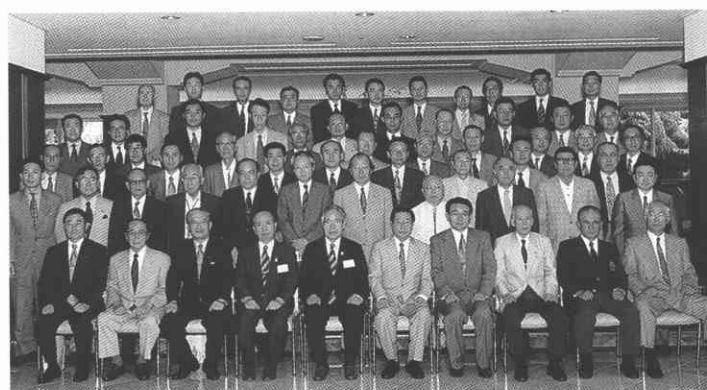
テーマ
ロータリーの心を

RI会長
グレンW. キンロス

第38代会長 前田暢俊
幹事 黒木 寛
第2730地区ガバナー

凶師鎮雄

分区代理 山脇 忍
会員数 86名
入会者 4名
退会者 7名
公式訪問 8月8日
地区大会 11月8～9日 (宮崎市)



主な出来ごと

1997.7～1998.6

- 7月 英国、香港の主権を中国に155年ぶりに返還。
- 8月 ダイアナ元英国皇太子妃、パリのトンネル内で交通事故死。
- 9月 国内最大規模の新京都駅が開業。
- 11月 サッカー日本代表、初のW杯出場を決定。
- 11月 山一証券、自主廃業を決定。戦後最大の倒産。
- 11月 テレビアニメ「ポケモン」を見た子どもたちが身体に異常。
- 2月 長野冬季五輪が開幕。
- 3月 明石海峡大橋完成。全長3,911メートルの世界一の吊り橋。
- 5月 若乃花が66代横綱に。初の兄弟横綱誕生。
- 6月 金融監督庁発足(初代長官に日野正晴)。

1998～1999年度



テーマ

ロータリーの夢を追い続けよう

RI会長

ジェームスL. レイシー

第39代会長 吉田多毅
幹事 植松孝一
第2730地区ガバナー

鮫島哲也

分区代理 橋口正樹

会員数 84名

入会者 4名

退会者 9名

公式訪問 8月7日

地区大会

11月21～22日 (日向市)



主な出来ごと

1998.7～1999.6

7月 近畿大学と石川県が世界初の成体体細胞「クローン牛」出産に成功。

7月 和歌山市園部の夏祭りで毒物混入カレー事件。

8月 横浜高校が春夏連覇。松坂投手、決勝でノーヒットノーランを達成。

8月 米・カーディナルスのマグワイヤが年間最多記録を更新。70本。

11月 沖縄県知事選で大田昌秀氏三選ならず。

12月 旧国鉄債務のためタバコ1本1円の値上げ。

1月 欧州連合(EU)11か国が単一通貨ユーロを導入。

2月 臓器移植法に基づく国内初の脳死移植が行われた。

3月 五輪の誘致をめぐり買収疑惑が浮上。

6月 拓銀、長銀、日債銀旧経営陣逮捕。

1999～2000年度



テーマ

ロータリー2000：活動は一堅実、信望、持続

RI会長

カルロ・ラビッツァ

第40代会長 小林貞雄

幹事 日高 均

第2730地区ガバナー

井ノ上繁

分区代理 築瀬 貢

会員数 80名

入会者 4名

退会者 2名

(4月8日現在)

公式訪問 7月30日

地区大会

11月20～21日 (鹿屋市)



主な出来ごと

1999.7～2000.6

8月 日の丸を国旗、君が代を国歌と定めた国旗国歌法が成立。

8月 トルコ西部で地震発生。死者約1万8千人。

9月 台湾中部で地震。日本人2人を含め約2千4百人死亡。
世界の半導体供給に打撃。

9月 茨城県東海村で国内初の臨界事故が起きた。

9月 神奈川県警で組織ぐるみの不祥事隠しが相次いだ。

12月 コンピューター2000年問題。点検対象は世界で推定3億台以上。

3月 日本で92年ぶりに家畜の口蹄疫が発生。

4月 介護保険制度がスタート。

少年犯罪が多くなる。愛知県での老夫婦殺傷。

バスジャックをして、数人を殺傷。いずれも17歳の少年。

10年間のクラブ概況の推移

創立年月日 1960（昭和35年）4月8日（日本374番目）

承認年月日 "（ " ）5月8日

認証状伝達式 "（ " ）11月12日

チャーターメンバー数 25名

クラブ概況の推移について表示しました。

クラブ概況一覧表（31代～40代）

	31代	32代	33代	34代	35代	36代	37代	38代	39代	40代
	1990～91	1991～92	1992～93	1993～94	1994～95	1995～96	1996～97	1997～98	1998～99	1999～2000
1. 創立後入会者	225	230	238	248	260	265	276	281	286	289
2. 創立後退会者	172	177	180	189	190	204	211	220	227	235
3. 現在会員数	78	78	83	84	88	86	90	86	84	80
正会員	40	38	39	42	49	47	53	49	46	46
アディショナル正会員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シニア・アクティブ会員	38	40	44	42	39	39	37	37	38	34
バスト・サービス会員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 会員の平均年齢	55.49	56.12	56.73	56.57	56.22	56.59	55.65	56.28	57.00	56.94
最 高	81	82	83	84	85	86	85	86	87	84
最 低	33	32	33	34	35	36	37	38	39	30
20才台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30才台	3	2	3	3	2	2	2	1	1	1
40才台	23	24	25	28	28	26	34	31	29	27
50才台	24	21	19	14	21	21	20	22	19	18
60才台	19	23	25	30	28	27	22	18	21	22
70才台	7	5	8	7	6	6	9	11	11	10
80才台	2	3	3	2	3	4	3	3	3	2
5. 地区大会出席率	25.3%	31.7%	27.1%	100%	48.9%	100%	35.2%	100%	35.3%	30.0%
6. 本年度予算総額	20,440,633	21,402,250	24,675,544	26,588,397	22,152,774	22,713,281	24,470,465	23,290,877	21,920,924	21,295,373
7. 入会金	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
8. 会員会費	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000
9. 会食費	1,957	2,060	2,060	2,163	2,163	2,163	2,163	2,205	2,205	2,205
10. ビジター会費	1,900	2,000	2,000	2,100	2,100	2,100	2,100	2,300	2,300	2,300
11. 例会平均出席率	95.75%	94.36%	92.58%	94.16%	94.17%	91.60%	93.96%	91.40%	88.01%	

米山功労者一覧表

竹野 融	S 60. 7. 25	衛藤 清隆	H 3. 6. 28
阿南 育男	S 62. 8. 18	小田原 義征	H 3. 6. 28
日高 常一	H 3. 6. 20	高見 忠典	H 3. 6. 28
重城 寿雄	H 3. 6. 20	上田 邦雄	H 5. 10. 21
内村 龍祐	H 3. 6. 20	竹内 三郎	H 5. 10. 21
田崎 博俊	H 3. 6. 20	松本 廣行	H 5. 10. 21
林 務	H 3. 6. 20	高見 忠典	H 6. 9. 16
前園 善彦	H 3. 6. 20	柴田 博文	H 7. 8. 11

米山特別功労法人一覧表

総合葬祭 みやそう	H 6. 9. 16	株式会社タケセン	H 7. 9. 22
-----------	------------	----------	------------

ロータリー財団寄付者一覧表

ポールハリス・フェロー		高見 忠典	S 63. 6. 20
竹内 三郎	S 47. 6. 30	前園 善彦	S 63. 6. 20
阿南 育男	S 49. 6. 26	尾藤 博澄	S 63. 6. 24
◇	H 2. 1. 6	岩井 隆一	S 63. 11. 15
◇	H 5. 10. 21	市来 斉	H 1. 6. 5
竹野 融	S 50. 7. 25	菊池 皓一郎	H 1. 6. 5
植松 熊太郎	S 54. 2. 9	重松 ウメ	H 1. 7. 11
橋本 一郎	S 54. 10. 26	浜砂 猛敏	H 2. 4. 24
郡 嗣彦	S 54. 12. 21	田崎 高伸	H 2. 4. 24
日高 文雄	S 56. 9. 18	大江 幸政	H 2. 4. 26
吉賀 幸夫	S 60. 6. 18	小田原 義征	H 2. 4. 26
江田 祐典	S 61. 12. 12	喜島 健一郎	H 2. 4. 26
内村 龍祐	S 63. 6. 20	坂本 健太郎	H 2. 4. 26

柴田博文	H2. 4. 26	吉田多毅	H5. 7. 30
志多克彦	H2. 4. 26	武田順一	H5. 10. 19
田崎博俊	H2. 4. 26	山口賢一郎	H5. 10. 19
林務	H2. 4. 26	吉田信一郎	H5. 10. 19
日高常一	H2. 4. 26	前畑智之	H6. 4. 11
井手脇万詔	H2. 4. 27	岩切宏海	H6. 5. 2
大園英治	H2. 6. 22	植松孝	H6. 5. 2
重城寿雄	H2. 11. 16	衛藤清隆	H6. 5. 10
稲倉正孝	H2. 12. 4	小川次男	H7. 6. 26
久保裕	H4. 1. 15	秋山久	H7. 7. 17
新恵誠	H4. 5. 29	日高久夫	H7. 7. 17
川野良博	H4. 5. 29	西岡恒之助	H7. 7. 20
日高照雄	H4. 6. 2	植松孝一	H7. 7. 25
松本廣行	H4. 11. 25	松原和夫	H7. 7. 25
大塚一止	H5. 5. 24	森重勝雄	H7. 8. 29
上田邦雄	H5. 7. 30	村上四朗	H8. 3. 19
黒木寛	H5. 7. 30	岩城義博	H8. 8. 26
暉本秀雄	H5. 7. 30	神崎義世	H8. 9. 27
長崎康啓	H5. 7. 30	香月正直	H8. 11. 28
日高均	H5. 7. 30	前田暢俊	H9. 2. 10

ベネファクター

岩井隆一	H7. 7. 5	林務	H7. 7. 17
竹内三郎	H7. 7. 11	日高常一	H7. 7. 17
阿南育男	H7. 7. 11	前園善彦	H7. 7. 17
重城寿雄	H7. 7. 11	喜島健一郎	H7. 7. 25
市来齐	H7. 7. 17	志多克彦	H7. 7. 31
田崎博俊	H7. 7. 17	高見忠典	H7. 8. 7

メモリアル・コントリビューター

田崎松代 S49. 10. 15

橋本文 H3. 4. 24

竹野正代 H4. 9. 16

橋本善吉 H8. 10. 29

ポール・ハリス・準フェロー

塚久 S46. 8. 27

田崎博俊 H7. 7. 17



ダリヤ賞の制定

1969年（昭和44年）7月

職業奉仕委員長	日 高 文 雄
職業奉仕副委員長	三 原 七 郎
職業奉仕委員	田 中 博 規

ロータリーは行動における理想であり、他人に対する思いやりと援助をすることである。他人に対する思いやりが奉仕の基盤であり、他人を助けることがその表現である。人類こそ職業であって、慈善、恵み、堪忍、そして博愛は凡て自分の職業であり、商売上の取引などは自分の職業という広範な海洋中の一水滴に過ぎない。

職業奉仕はロータリアンの目標と業務に限られるものでなく、広くロータリアンでない他の人々と共に分かちことである。即ちロータリーの理想を共に分かち、奨励且育成して奉仕することこそロータリーの挑戦である。

我々ロータリーは地域社会でなすべきことが沢山ある。その中で地域社会を明るく、平和な、しかも職業を通して手近かに奉仕できることは人々の親切な行為である。自己の職業を立派に果し、また真心のこもったその親切な行為は、大小にかかわらず人々を救い人間社会を潤おしてくれるのである。

我々ロータリアンは先ず自分の職場から率先してこの運動を展開し、広く地域社会に善意と親切が波及され、究極の「奉仕の理想」が達成されるよう努めるものである。

ここに「ダリヤ賞」となづけ、広くこれを顕彰することにより初期の目的が果たされ、地域社会全体に可憐なそして愛され、親しま

れ、親切なこのダリヤの花を一杯咲かそうと希うものである。

「ダリヤ賞」命名の由縁

ダリヤはわが国への渡来は1842年、天保13年オランダ船がつんで来たことと記されています。

夏から秋にかけて見事な花を咲かせるダリヤは可憐なものから、大輪に至っては華麗そのもので誰からも愛され、親しまれ、親切を喜ぶ感謝の花とうたわれています。

このことから、「ダリヤ賞」と、命名しました。

「ダリヤ賞」贈呈規程

第1条 ダリヤ賞はロータリー職業奉仕の理想を具現した個人又は法人に贈呈するものとする。

第2条 受賞者には表彰状並びに賞品を贈呈する。

第3条 ダリヤ賞該当者（候補）を推薦した者に簿謝を呈する。（但しロータリアンを除く）

第4条 受賞者は原則として年1名とし都合によって変更することもできる。

第5条 受賞者は次条に定める選考委員会に於いて宮崎市内及びその周辺より選考する。

第6条 選考委員会は会長、副会長、職業奉仕委員から構成する。

第7条 表彰は毎年職業奉仕月間を原則とする。但し都合によって変更することも出来る。

付 則

本規程は昭和62年9月18日より改正実施する。

ダリヤ賞受賞者一覧 (1990～1999年度)

年度	回	受賞者名	年齢	奉仕内容
1990	36	横山卓哉		教職33年のうち、19年間を特殊教育に専念。
1991	37	児玉岐光	82	板金60年。その仕事は高く評価されている。
1992	38	三原千和	59	精神薄弱者を対象とした「やまびこの里」を設立 幼児教育、精神薄弱者教育と日夜献身努力される
1993	39	迫田勝	67	剣道普及と指導の為、県内のみならず、外国へもボランティアで行かれ、日本文化を広められた。
1994	40	森富貴子	56	重複障害者の自立の為に、「仲間の家」を設立。
1895	41	川上マサエ	68	看護婦、保健婦として、長年、地域の保健に従事
1996	42	山下ヤス子	48	自らも重度身体障害者でありながら、「やじろべえ」開設など、障害をもつ方々の安定した就労の場づくりに取組まれる。
1997	43	奥トキ	100	62年間助産婦として活躍され、その間とりあげた赤ちゃんは1万人になる。
1998	44	山村通雄	66	本物の豆腐造り一筋に40数年。
1999	45			

ダリヤ賞表彰事由

1990～1991年度

受賞者 東大宮中学校 教諭 **横山卓哉**

教職経験33年のうち19年間を特殊教育に専念してきた。心身に障害をもった生徒の障害の程度や家庭環境の把握を的確に行い、特に、学力の低い生徒の基礎学力を向上させる力量は高く評価されている。かつて勤務した生目中学校や田野中学校においては、特殊学級生徒の高等学校への進学指導にみなみならぬ力を尽くし、大きな成果を収めてきた。

又、現任校においては、1名を担当しているがこの生徒に生活力をつけるために基本的な身辺処理能力や作業能力及び話す力の育成等を目標にして指導に当たっている。

具体的には、言語力をつけるためのワープロ指導、商店での買物や一輪車を引いての空き缶拾い等の校外学習を通して基本的な生活能力を身につけさせるため懸命な努力を続けているところである。

このひたむきな指導の様子は校内はもとより本校の保護者や地域住民が等しく認め、深く感銘している。本教諭は人格・識見ともすぐれ、保護者や同僚の信望も厚く、特殊教育への情熱と実践力は他の模範となっている。

よって表彰に十分値するものと思われる。

1991～1992年度

受賞者 児玉 暎 光 (こだま けさみつ 82歳)

児玉暎光さんは明治43年2月28日新富町で生まれた。15歳で板金の仕事に就き昭和7年22歳で独立して今年60年目、現在も「職人」、また社長として活躍されている。

バケツ、水差し、茶かん等小物からはじめて、現在は建築用中心、特に営業も宣伝もしないが、業界では「手直しが無い」と評価は高く注文は後を絶たない。5人の息子さんが全員板金の仕事に就かれて技術の継承はなされているものの、道路やポンベへの文字の刷り込みに要する「刷り込み版」の製作は今も児玉さんに指名がかかる。

一つ葉海江田神社の銅版張り替え、また最も難しいとされる観現造りの椎葉十根川神社の張り替えも手掛けられた。

表彰歴

S41. 2.25	全国板金表彰	全国板金工業会
S50. 5.27	組合役員理事表彰	宮崎県板金工業組合
S50.11.21	技能検定表彰	宮崎県知事
S63.11.10	労働大臣賞	労働大臣

1992～1993年度

受賞者 三原 千 和 (みはら ちわ 59歳)

三原さんは、昭和8年9月20日国富町でお生まれになりました。

昭和29年県立児童福祉園で実習生として入所され、以来児童福祉を自己の天職にと頑張っておられます。

結婚後も御夫婦共々、福祉の仕事の中から恵まれない精薄者を救済する事は出来ないかと考えられた。61年7月御主人が他界されたのを機に私財を投じ、平成3年4月に18才以上の精神薄弱者を対象にした更正施設「やまびこの里」を設立された、市にはまだ一ヶ所しかない貴重な施設であり又建設にあたっては地元の反対があり、大変苦労されました。

幼児教育、精神薄弱者教育と日夜献身努力され、社会福祉事業を通して職業奉仕の信念を確固たるものとされています。

表彰歴

昭和59年	社会福祉宮崎県知事賞
63年	全国社会福祉評議会会長賞

1993～1994年度

受賞者 迫 田 勝

元警察官 現、宮崎市榎地区自治会連合会長、青少年育成協会会長、他
剣道教士7段 居合道5段 日本水峰流剣舞詩舞道師範

昭和52年～54年 宮崎県剣道部監督として、青森、長野、宮崎の各国体に参加、同時に国体選手強化対策委員をつとめる

昭和54年 宮崎国体で剣道全国で優勝、尚国体出場10回、内3回監督 西日本各県対抗剣道大会 12回出場 全国警察官剣道大会 18回出場 全日本東西対抗剣道大会高段者大会 3回出場、その他

昭和55年 県スポーツ賞、警察功績賞

平成1年11月 宮崎市教育委員会表彰

昭和55年3月 生涯の夢であった外国への剣道普及と指導にあたる為33年間勤務した県警を勇退されました。同年3月には宮崎県欧州諸国教育事業団に参加、英、仏、西独、オーストリア、スイス、イタリアの6ヶ国訪問、村社講平氏と同行してヨーロッパのスポーツ、武道の状況視察をしてられました。

昭和56～57年 イタリアのミラノに居住して、ミラノ ゼノバ ポロニア パリー等の10都市に剣道、居合、剣舞の指導にあたっておられました。帰国後も毎年2～3ヶ月渡欧して剣道指導をされています。

外国での剣道指導は全て無料奉仕のボランティアで行われこの10数年間に私費1,500万を投じて剣道の普及指導に当たってられたのであります。欧米での門弟は数百名にものぼり、熱心な門弟の中には現在も年に何名かの欧州から宮崎まで指導を求め、迫田さんに面会を求めて来日されていると伺っております。

ロータリーで云う職業奉仕の理想を實踐し、自己の職業上の手腕を近隣社会及び広く世界に視野を向けて社会のニーズに対応して活動を継続されていることは誠にすばらしく感嘆するところであります。

これらの活動をみますと、ダリヤ賞に提唱された理念に合致するのみならず私達ロータリアンのモットーである「超我的奉仕」の實踐のよき手本、又先導者として極めて有意義であると考えます。

よって宮崎西RC、ダリヤ賞受賞該当者として推薦された次第です。

1994～1995年度

受賞者 森 富貴子（もり ふきこ 62歳）

森 富貴子さんは、長男に重複障害者の我が子をかかえ、将来この子が一人の人間として可能な限りの自律、自立ができるように、また地域住民の一人として社会生活ができるようにと願い、同じ悩みを持つお母さん達と、その手助けをして頂くボランティアの皆様と共に上記「仲間の家」を設立。

お菓子作り又牛乳パックの回収、再生紙作り、喫茶事業等11人の障害者と共に、少ない補助金と前記の事業からのささやかな収入をもとに、ひたすら障害者の皆さんが将来地域で生活者として自立できるよう、日夜一生懸命、教育・共生の實踐をしておられます。

この事は我が宮崎西ロータリークラブが提唱するダリヤ賞に該当するものとして、ここに表彰します。

1995～1996年度

受賞者 川上マサエ

昭和20年熊本陸軍病院看護婦養成所卒業以来、国立病院に勤務後、昭和24年より昭和42年まで小学校養護婦を始めとし、役場・職場・保健所等の保健婦として、地域の保健に従事されました。

昭和43年より平和台内科病院に勤務し、定年退職するまで通算15年間、婦長職等を勤め、平和台内科病院は勿論、地域医療に終生たずさわり貢献して来た事は、大きな業績といて良いと思います。現在もなお、元気で後進の指導に当たっておられます。

1996～1997年度

受賞者 山下ヤス子（48才）

昭和59年2月 筋ジストロフィー協会宮崎県支部発足。支部長及び九州地方本部長就任。

昭和62年 共同作業所設立。

平成2年10月 日本財団の助成金を基に大塚町に身体障害者通所受産施設「やじろべえ」を認可施設として開設。

平成9年1月 身体障害者療護施設「翼」の施設長に就任。

他にケア付ホーム、デイサービスセンターを開設。

受産施設「やじろべえ」の設立目的として、次のような文章が掲げられています。「当施設は進行性筋ジストロフィーの障害を持つ方々中心として、重度の障害をもつ方達と健康な方達とが交わりながら、安定した就労の場づくりを目指して、設置されたものです。働きたいという意欲を尊重して、その喜びが一日も早く達成されるようにと願いながら、地域の方々とともに世界一のまほろばづくりをめざしています。」

山下ヤス子さんは自らも重度身体障害者でありながら、幾多の困難を乗り越え、障害を持つ方々の安定した就労の場づくりに精力的に取り組んでいらっしゃいます。今まで多くの障害を持つ方が、働くことを通して生きる喜びと、地域社会の一員として強く生きることの希望を得てきたことと思います。今後益々のご活躍と、障害を持つ方々が安心して明るい生活を送られることを願いダリヤ賞を贈呈させていただきます。

1997～1998年度

受賞者 奥トキ（100才）

18歳で県立産婆養成所に入所、翌年助産婦と看護婦の免許取得と同時に、宮崎市立病院に勤務。20歳で高岡町に帰り助産婦を開業、両親の世話をしながら85歳まで助産婦として活躍され、その62年間の間に取り上げた赤ちゃんは一人になる。地元では「トキばあちゃん」と慕われ、最初に取り上げた近所の赤ちゃんは今年77歳になる。

開業後、事故で足を痛め、不自由な体で自転車に乗っての助産婦業。「昔、トロッコで山奥まで助産に行ったり、台風で大水が出る中、避難所で赤ちゃんを取り上げる」等、寝る暇もなかった昔の体験を今も元気に話しをされる。

平成9年9月13日に満100歳を迎えられ、今では毎朝7時起床、新聞に隅々まで目を通し、高岡町の記事に赤線をいれられる。また、デイサービスや趣味の裁縫を勤しみ、76冊目に入った日誌を書くのが日課。

奥トキ様は、自分の青春と一生を社会に奉仕され、その間、高岡町母子健康センター嘱託助産婦、母子保険推進委員等の要職に委嘱され活躍されてこられた。

以上のことからダリヤ賞を贈呈させていただきます。

1998～1999年年度

受賞者 山村通雄 (66才)

創業90年を迎える山村豆腐店の代表者として、本物の豆腐造り一筋に40数年。この仕事に就いて以来今日まで、夕方7時30分就寝、深夜1時起床の毎日。納入先の病院には出来立てを早朝6時には納品、お陰で美味しい味噌汁が患者さんの朝の食卓へ届けられる。

舌触りはやや劣るものの、カルシウムなど体に良いとされる栄養分の豊富なニガリを使用、さらにパック詰めせず、昔ながらの水槽の冷水に浸けて保管する方法を頑なに守りとおしている。

車に積み込んで市内の各町内に出かけると、それぞれのお宅の玄関先に鍋が置いてあったり、目印のタオルがぶら下げてあったりして、山村さんの豆腐を沢山の人が待っている。鍋の下には代金まで置いてある。お客さんの信頼度の深さを示している。

長男の格士さんへ技術の継承がなされており、いつ引退しても心配はない。だけど『あなたの豆腐でなければ』と待っている人々がいるうちは、そして自分が元気なうちは辞めるわけにはいかないと山村さんは恥ずかしそうに言う。

お客さんがあしたの朝も待っているのは、冷水に浸かった美味しい豆腐とそれに添えられている、なんともあったかいうれしい『笑顔一丁』である。



ロータリーの創始者
ポールP・ハリス

社会奉仕基金運営委員会規程

(総 則)

- 第1条** 当クラブが昭和46年10月1日に創設した社会奉仕基金（以下基金という）の運用に関しては、この規程の定めるところによる。
- 第2条** 基金は会員の寄付金によって積立てる。但しこの基金の趣旨に賛同して寄付せられた会員以外からの資金もこれに充当することができる。
- 第3条** 基金は原則として有価証券、定期性預金に投資してその運用益の増加を図らねばならない。
- 第4条** 基金の使用は原則として、その運用益の範囲において国際ロータリーが提唱する社会奉仕のために行うものとする。

(運営委員会)

- 第5条** 基金の運用を行うため、会長はクラブ細則第8条3節（b）により社会奉仕基金運営委員会（以下委員会という）を任命する。
- 第6条** 委員会は当クラブの各年毎に、会長が指名する会計及びその他の会員若干名をもって組織する。
- 第7条** 基金の出納、保管、管理は会計である委員がこれに当たる。
- 第8条** 委員会は委員長が必要に応じて招集する。委員会は付議する事項を次の通りとし議決はその過半数で行う。
1. 第3条の基金運用に関する事項
 2. 第4条の基金は
 - イ. 社会福祉関係事業に対する援助
 - ロ. 文化活動事業に対する勸奨
 - ハ. 奨学関係援助
 - ニ. その他社会奉仕関連事業に対する援助
 3. この規程の改正に関する事項
 4. その他基金運用上必要と認めた事項

(会 計)

- 第9条** この基金の会計年度は当クラブの会計年度と同じとする。
- 第10条** 基金の収支決算状況は、理事会の承認を受けて会計年度終了後1ヶ月以内に会員に報告しなければならない。

(付 則)

1. 本規程は昭和58年4月1日より実施する。
2. 本規程は改正をしたいときは遅滞なくその内容を理事会の承認を受けて会員に報告しなければならない。
3. 本規程は平成2年4月1日より改正実施する。
宮商の生徒に対しての奨学金規定は、平成2年4月1日をもって廃止とする。

地区大会について

竹内三郎

1995～1996年度地区大会が宮崎西R.Cがホストとなり秋分の11月24～26日宮崎ワールドコンベンション、サミットホールで千宗室R.I.会長代理をお迎えして開催されました。

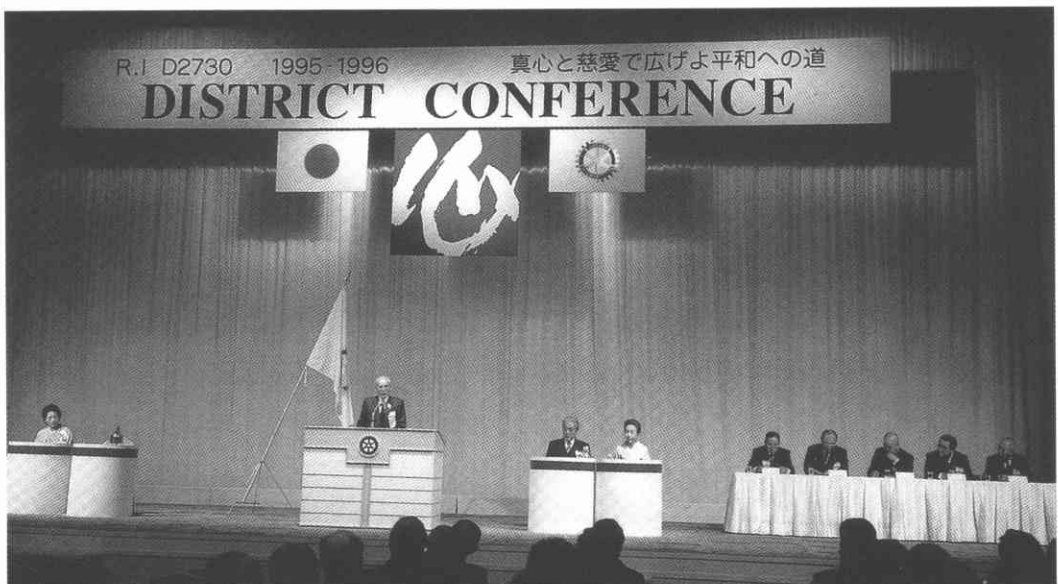
地区大会はガバナーの任務のなかで最も重要な行事の一つであり、私はその実施にあたり、三つの重点項目を掲げました。

- イ) 地区内クラブ、会員の交遊、親睦
- ロ) 出席会員にロータリーを楽しみ、感動を与える。
- ハ) 著名な人の講演を聴きロータリーを勉強する。



この線にそって、クラブの皆さんが日高文雄大会会長のもとに挙げて企画、運営にご尽力戴きました。そして我がクラブならではの素敵な大会を開催することが出来ました。大会史上最多の2,578名参加者の皆さんがその内容に満足され、ロータリアンで良かったとの感動を受け満足してお帰りになったことと思います。

R.I.会長代理は所感として「今回の大会は会場に入った途端に世界大会をやってもよいのではないかと思う程の恵まれた会場で、また全ての内容、項目が素晴らしく、点を付





けるとしたら100点以上の点をつけねばならない。従って出席会場も2日目になってもこんなに多く残られた大会は珍しい。」との讃辞を戴きました。

特別講演要旨

イ) 森本哲郎氏の記念講演「人間と文明」と題して、

21世紀の世界をとりまく種々の問題点、即ち宗教や民族問題、また経済やインターネットによる情報化の問題について述べられました。今後は更に大きな問題となることが予想される人口増加に伴う食糧問題やエネルギー問題について言及されました。これらの解決のために我々は成長の限界を知らねばならない、また一方では新しい価値観や、新しい豊さの指標を求めて行動しなくてはなりません。

文明の進歩に対して、求める豊かさとは何かを反省し、その新しい指標に向かって努力せねばならないと述べられました。

ロ) 深川純一郎P.G.はロータリーセミナーで「ロータリーの源流について」と題して講

演を戴きました。

ロータリーの発生史について、組織としての側面と思想として側面がある。ロータリーは一業種一会員制のもとで、例会出席を強制的原則として親睦を深めるクラブとして発足、次いで会員が世の為人の為になるよう、心を磨くようになりました。このことが基本となります。この原則を変えるとロータリーではなくなると述べられました。



最近巨大化したロータリーの現状について心ある会員からR情報の徹底の必要性を訴える声を屢々耳にします。1992年R.I.会長を勤められたダクターマンは「組織の多彩な歴史やそのいろいろの習慣や伝統をもっと知るように」と述べられています。これらの指摘に充分応える貴重な講演でありました。

懇親会について

結成40年を迎えたデューク・エイセスの皆さんが懐かしい歌、楽しい歌、を特にリーダーの谷道夫氏が本県出身とあって熱のこもったショーとなりました。また宮崎西RC、



歴代会長の皆さんが頻回の練習を重ね、揃いのタキシード姿は一人前でしたが歌の方はデュークのサポートによりなんとか歌い終り、客席から盛大な拍手と声援を戴きました。ご苦労様でした。

おわりに

この大会はホストの宮崎西クラブの親睦と協調性の豊さが遺憾なく発揮され大成功裡に終わることが出来ました。改めて過去一年間準備と運営にご尽力戴いたクラブの皆さんに心から感謝申し上げます。

有難うございました。

バン格拉デシュに診療所建設 竹内三郎

1) はじめに

21世紀に向けて国際社会の進むなかで、ロータリーの活動が国際奉仕にシフトされるべきかもしれません。とは言えクラブとして直接国際奉仕の実践にはいささか困難さを感じられます。

私は4年前地区ガバナー就任時任期中に地区として何か適当な世界社会奉仕を実践したいと考慮し、先ず発展途上国訪問の計画を建てました。

そんな折に宮崎医大にバン格拉デシュから留学していた医師（Dr.カーン君）が帰国後首都ダッカの公的病院に勤める傍ら休みを利用して仲間の医師と交替で無医地区にボランティアとして診療したい、そのための診療所をつくってほしい、との要請を受けました。



宮崎西RC例会場にて前田暢俊会長より
Dr.カーン君に建設資金贈呈 H10.6.26

一方宮崎大学農学部にも同国よりの留学生から自分の父が学校経営をしていたが都合で中止しているので再興のための援助をとの依頼も受けました。そこで任期後半（1月以降）一度バン格拉デシュに現地調査に出かける計画を建てました。ところが折り悪く大統領選挙で現地の治安が悪いと報告を受け、待機中雨季に入り、交通事情が悪く思うように行動がとれない、とて結局任期中に計画を果たす事が出来ませんでした。

その後は一会員としてのんびりロータリーライフを楽しんでいました。そんな時に一昨年例の医師から再度「何とか診療所を」との強い要望があり、少し重くなった腰を上げ場合によればクラブで世界社会奉仕を、と一昨年11月クラブの仲間3名で現地に出かけました。

2) バン格拉デシュの現状

インドの東方ベンガル湾に面したデルタ地帯で面積は北海道の2倍、人口は1億2,000万人、密度は世界一で、しかもその増加率は30年間で2倍となり国は如何にして産児制

限するか大きな政治課題となっています。

経済力は世界一の貧困な国で1ヶ月の平均所得が約2万円（家族5～6名）であります。地方に住む人々の大半は日本の縄文文化時代を思わす生活で庭に窯をすえ、主婦は、その上に鍋をかけ終日効率の悪い燃料で雑炊



厚生大臣臨席のもと診療所オープン式典

のようなものを作り、しかもそれを1日1～2度食べる程度の生活をしています。ところが精神面における家族生活は勿論社会生活においてもお互いに助け合い、分かち合う同盟愛、人間愛に満ちた心豊かな人々であることを随所に拝見する事が出来ました。

3) 医療について

詳細な資料がありませんが、医療費については、日本のような健康保険は勿論なく、政府系（公立病院）は診療こそ安く、30タカ（約90円）ですが、その他の検査料、手術料高価薬は別途にかなりの高額を要します。私的病院は診察料が凡そ200タカ、その他治療費は適当に請求されるので一部の高額所得者以外の一般住民は現代医療の恩恵を受ける事が出来ません。従って平均寿命も52歳とされています。

4) 診療所の建設

さて私はこの国の人々の人間性、豊かな心に引かれて少しでも手助けする事が出来たらと診療所設立を決意しました。そしてカーン君の義父が所属しているダッカミッドタウンRCを訪問し、このクラブに診療所設立後の運営を託して帰って参りました。帰国後クラブ会員の皆さんの賛同、延岡中央RCから創立20周年の記念事業としての御協力、その他企業や市内のボランティアの方々の支援により必要資金を集める事が出来

ました。

診療所は首都ダッカから西に55kmで人口約25,000人の無医村に約200㎡の平屋建、中央に中庭を囲んで9部屋、予想以上に立派なものが完成致しました。

去る1月29日厚生大臣臨席のもと、宮崎から建設に支援して頂いたロータリー会員、ボランティア代表ら25名が参加して盛大な開院式が行われました。

テープカット直後、開院を待ち侘びていたかのように3名の患者が担架で運び込まれ（黄疸、急性心不全、ロイマ性両膝関節硬直）これらの人々を診療致しました。その後現地の医師の報告で当日のみで60名を診療したとのことでした。

なお検査機器は地区のD.D.F（地区財団活動資金）をお願いしR.I.の同額補助金で購入する予定になっています。

おわりに

宮崎西RCが提唱したバングラデシュの診療所建設に対し、協賛を頂いた多くの方々に心から感謝申し上げます。開所式に参加して、地元住民約2,000名にちかい人々から熱



オープンと同時に担架で運び込まれた黄疸の婦人

烈な歓迎を受け、現地の医療に恵まれない人達の期待の程が伺われました。

私は今回の国際奉仕活動を実践する事により、経済的に恵まれない現地を訪ね、物質に豊かとなった日本に於いては考えられない、即ち人間が食べることから出発した原点、物の有難さ、そしてそこに住む人々の人間愛、心の豊かさを学ぶ事が出来ました。

これからこの診療所建設を契機に今後時折この国を訪ねたいと思っています。

WCSの一環として、バングラデシュ・ピロジャリ村に診療所を建設 田崎博俊

宮崎医科大学での留学を終え、母国バングラデシュで医療活動に取り組んでいる医師・カーン・アズハルル・イスラムさんは病院建設着工の報告などで来県し、1998年6月26日には最大の支援団体である宮崎西RC(前田暢俊会長、83人)が開いた建設資金の贈呈式に出席した。

カーンさんはバングラデシュのダッカ医科大学を卒業。1989年に文部省留学生で宮崎医科大学に留学。高血圧病などの研究を続けてきた。現在、ダッカの病院の内科医。

8年間の留学では妻のロニーさんとの間に二人の男子も誕生。長男の関係では学園木花台小PTA会長を務めるなど地元の住民らとも交流を深めた。留学中に心を痛めていたのは、世界の最貧国の母国のこと。無医村が多く、公衆衛生上の問題から寄生虫、下痢、高血圧病で早死が目立ち、平均寿命は57歳。「病院が少しでも増えれば多くの命が助かる」。豊かな日本での生活を見ながら考えていたときに、支援の手を投げたのが宮崎西RCの会員で、元県医師会会長の竹内三郎P.G.。宮崎西RCは竹内P.G.の呼びかけで「バングラデシュ病院建設特別委員会」を結成。この結果、宮崎西RCほか、国際ロータリー、延岡中央RC、宮崎市、清武町など県内の多くの人から資金が寄せられた。



病院建設地はダッカから西に55km離れたピロジャリー村。人口2万5千人で医療施設がない所。最近、初めて電気が通じたばかりの街。カーンさんの所有地があり、宮崎西RC会員の代表も現地調査して建設地に決めた。

約200平方メートルの平屋の医療施設が完

成し、1999年1月29日に現地のピロジャリー村でオープニングセレモニーが開かれた。本県からは建設を支援した宮崎西、延岡中央RC会員ら27人が参加した。

開所式にはバングラデシュの厚生大臣、ダッカミッドタウンRC会員ら約2千人が出席。地元のテレビ局や新聞社も取材に訪れ「日本とバングラデシュの懸け橋」となる診療所完成を祝った。



一行は宿泊先のダッカからバスで約1時間半かけて村に到着。診療所前には村民手作りの色鮮やかなゲートや舞台が設けられ、ピロジャリー高校の生徒や村民らが出迎えた。

県民とバングラデシュの人々の思いをつないだ診療所。その名称は「宮崎西 延岡中央 ダッカミッドタウンRC友好の診療所」となった。セレモニーではカーンさんが「この診療所は私だけでなくバングラデシュの人々みんなのものです。支援してくださった皆さん、本当にありがとうございました」とあいさつ。

これに対し竹内三郎P.G.が「カーン君が帰国時に医療の現状を訴えたのがきっかけで支援することになった。恵まれない人を助けるためにぜひこの施設を役立ててください」と英語を交えて語った。セレモニーの最後に一行全員が壇上に招かれ、一人ひとりに花が手渡された。

式後は、完成した診療所内をカーンさんが案内。早速、竹内P.G.やカーンさんら医療スタッフが患者の診察に当たった。平屋建ての診療所には、中庭を囲んで診療室、トイレなど9部屋がある。

診療所建設が現実的に動き始めた背景には宮崎西RCの存在があった。カーンさんの妻、ローナック・ファジー・カーンさんが米山奨学生だった関係で宮崎西RCから建設援助の話が持ち上がった。

オープニングセレモニー前夜、カーンさん宅で開かれた本県一行の歓迎会。その場でカーンさんから竹内P.G.に一つの贈り物が手渡された。大きく引き伸ばされた竹内P.G.の写真パネル。「あなたたちの寄付を決して忘れない」。そこには英語とベンガル語で一文が刻まれていた。

「診療所は何かしてあげたい、というみんなの心の表れ」。診療所完成の喜びを竹内

P.G.はこう語った。

宮崎を第二の故里と呼び親しんだカーンさん。8年間の宮崎生活で県民との交流を一つの財産として持ち帰った。その成果が母国バングラデシュで実を結び始めている。

一回の診療費は公立病院で約90円、私立病院では高いときは千円にもなる。一カ月の収入が平均二万円(五人家族で)の人々にとっては重すぎる負担だ。



ピロジャリー村の診療所ではカーン・アズハルル・イスラムさんや友人の医師らはボランティア。施設の維持費や薬代のために一回約50円のみをもらう。できるだけ多くの



人に医療を受けてほしいという思いからだ。

1月29日のオープニングセレモニー当日、本格的な診療開始はまだ先にもかかわらず、村人の診療所への期待は大きく多数の患者が訪れた。「ここでは医者に診てもらっただけで恩恵を感じるのだろう」と医師の竹内三郎P.G.は口にした。



今回、宮崎西RC創立40周年記念事業の一環として、総額450万円相当の次の医療機器を現地に贈呈した。

1. 顕微鏡
1. 血液分析装置
1. 小型遠心機
1. オートクレーブ
1. 超音波診断装置

その他、スペアパーツ等



ローターアクトクラブ創立回想 菊地 平

1998年4月22日、和太鼓の勇壮な響きで、参加者大拍手の中、ローターアクト・チャータナイトはオープンしました。

実に10回近くに及ぶアクト会員練習の賜でした。それぞれ職場の異なった会員が一同に時間どりすることの困難な中での太鼓練習で、林委員を中心に、油谷会員・上園会員とJCシニアの小城さん・木浦さんの指導あって、共に額に汗しての日々は、ロータリー会員とアクト会員の強い心の絆となりました。太鼓はその都度、商工会館から借り出し、芸術劇場地下での2時間—初顔合せ同士のアクト会員も汗を通して“心はひとつ”になったと思われま

す。竹内パストガバナーが、ガバナー時代わがクラブにローターアクト創立を提唱されて以来数年、他の先輩アクトクラブの運動が低迷していただけに、皆がむずかしい事業との認識で先送りされてきたのは当然でした。

募集チラシを何回も配布し、創立の手続きに入りました。会員自身の社員の方が1人またひとりと応募あり、喫茶グルービーで第1回準備会をもったのが11月末、実に委員長任期5ヶ月経過後のことでした。

定例会場をどこにするかも大事なことで、会費に見合う、そして西RCらしいところの会場探しでしたが、宮崎厚生年金会館の理事長が元西RCの会員黒木勝さんだったこともあり、岩切(克)会員を通してお願いしたところ、格安で提供いただき、夕食もナイフ・フォーク付のものに心くばりあって、準備例会は順調なスタートとなりました。

日高(久)副委員長がアクト経験を生かしての歌唱指導あり、地区委員・折元さんもアクト経験者で鹿児島南のアクト・チャータナイトに共に出席勉強したものでした。

若者の可能性を信じて、1人ひとりにアクトバッチを渡す前田会長、満足と緊張のアクト会員、苦勞報われた一瞬でした。

和太鼓に引き続き演奏された会員のバンドは、上園会員指導のものでユース会場でお世話になりました。

難産の子はよく育つといいます。順調な運営がされているフェニックス・オーシャン・ローターアクトクラブの原点は、太鼓の汗した練習にあったと思います。ここに創立時の委員名を記して感謝を表わします。

副委員長 日高久夫 委員 上田邦雄

太鼓指導 林 務 委員 中村 浩

宮崎西
フェニックスオーシャン
ローターアクトクラブ
認証状伝達式



GSEリーダーとして

日 高 照 雄

‘98~’99のGSEリーダーとして’ 99年5月にアメリカ中部シカゴの近くの6540地区に行きまして。’ 98年の秋にデビット・ウイルソンをリーダーとしてインディアナ北部地域の6540地区から2730地区に来ましたので相互研修のために訪問したのであります。

メンバーは30数名の応募者の中から選考の結果、宮崎県より安岡裕子さん（東京海上）井上光朗さん（宮崎市役所）山本美穂さん（鹿児島大学学生課）有蘭美和（南日本新聞）の4人が選ばれ5月1日出発6月7日帰着の5週間に及ぶ研修旅行に行きまして。

本来私は十分な英語力があるわけでもなく只外国でわずかなホームステイの経験と好奇心によってリーダーを務めさせていただきました。出発する前に西RC会員のマイケル君が若い頃インディアナ州に住んでいたそうでインディアナ州は広い農場ばかりで外に何も無い所であると言っておりました。

シカゴ空港に着いて都心をはなれるとどちらを向いても山は見えゴルフ場の中をどこまでもハイウェイがのびている様ですがアメリカは広いものだと思います。町にはネオンの輝く華やかな店はなく大きな田舎でした。それでも地区内にはUSスチールの大工場、ハマーの軍用大型車工場、そして自動車の歴史のある国です。スチュードバーカーミュージ



アムやクラシックカー博物館などに案内して頂きました。

インディアナ州中部には日本の自動車工場も進出しております。私は研修の希望として時計宝飾のお店とショッピングモールの見学をお願いしておりましたので毎日の様に見学させていただきお話を伺うことが出来ましたので大変参考になりました。もう一つはベンチャー精神を高める教育システムの実態について大学や指導センターにもご案内いただき企業と大学と個人が一体化した非常に実地的なカリキュラムが充実しており、そこでは一度社会に出ている人が働きながら週に2日位夜間の講座で学びライセンスを取得して自分の収入アップと生活の向上にはげむことが出来る様に社会のシステムが出来ているのは大変素晴らしい事です。

出発に先立ってメンバーと5回程オリエンテーションを行いました。6540地区の地図と少い資料しかなく、訪問先の受入れ日程がようやく出発3日前に着いたので予備知識もなく不安な気持ちで宮崎をスタートしました。

シカゴ空港にはハワイ出身日系2世の山田さんの日本語での出迎えがあり安心しその後、ホストRCとホストファミリー先の引継ぎも順調にはこび各地で温かい歓迎を受け職業研修については各メンバーの希望に応じた研修先に案内していただいたのでその成果は各メンバーの今後の人生とビジネスに役立つことでしょう。

受入スケジュールについて2730地区は受入ホストファミリーや滞在計画を早く決定し、相手側にお知らせしてあるけれども、今回私共は訪問先について当日にならないとわからな





い場合が多くミステリーツアーの様であったので、メンバーの行動がつかめませんでした。ホストRCのアレンジがなければ企業訪問や研修が出来なかったことについては深く感謝しております。

出席したRC例会はいずれも事務局員はなくて幹事が受付から例会事項を処理し、ピアノ演奏の中で食事はピュッフェ式で簡単なメニューのセルフサービスでした。例会はアメリカ国歌に始まりジョークの飛び交うなごやかな会合で、ネームプレートにはニックネームが記入してあり、ハッピーは\$1づつテーブルのバスケットに出していました。

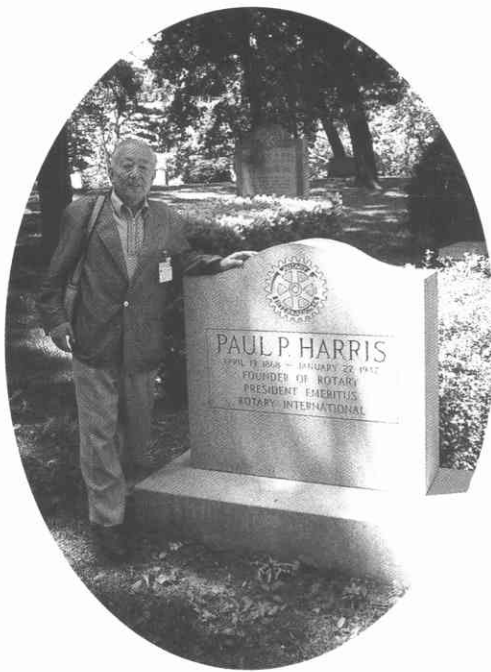
私共訪問GSEのために例会日を変更したりホームパーティで楽しく受入れてもらったり、中でも人口700人の農村ボズエルRC（メンバー15名）のクックアウトパーティでは会員の演奏やフォークソングでもてなして頂き特

に印象に残っています。私共は各地で2730地区の紹介でビデオ上映ののち、各自プレゼンテーションを行ない、又女性メンバーによるお点前には大変興味を持ってくれましたが、和服着用を期待していたようでした。

6540地区大会については5月14日、15日にわたり、フォートウエイン市で開催され、GSEプログラムの中で挨拶と記念品の交換を行ないましたが、夜のパーティの招待はなく練習した歌やパフォーマンスは出来ませんでした。

会場のどこにも大会に関する看板はなく参加者も100名位で簡素なものでした。各RCに於てはコミュニティに対して日本とは違った奉仕活動を行っており、2730地区のRC活動の方法について視点の違う計画を行う必要があると感じました。

滞在中はホテル泊はなく11軒のホストファミリーの温いおもてなしを受けアメリカの家庭生活を経験出来たことは貴重なものになりました。お世話になったどの家庭もインターネットが普及し広い敷地に大きい家で部屋には家族の写真がおいてあり、緑のガーデンには渡



り鳥から朝夕は野兎や鹿が現れてくる自然の中でのホームステイであったのは今でも思い出されます。

私のチームの若いメンバーは各地のRCメンバーにとけ込み度々「君たちは良いチームだ」とお誉めをいただきました。毎年各国からのGSEを受け入れているからでしょう。現在アメリカは好景気のせいか6540地区の若者はGSEに対する関心が薄く応募が少ないとのことでした。

私にとってはシカゴにあるポールハリスの記念碑を訪れることが出来たことはロータリアンとして最高の思い出となりました。RIは毎年500チーム以上をグローバルに交換しておる国際交流の大きな活動であります。

最後にGSEに参加して貴重な機会を与えていただいた2730地区の関係者に厚く感謝の意を現すものであります。ありがとうございました。



交換留学生のホームステイ

高見 忠 典

平成10年8月22日疲れも見せず、満面に笑みをたたえ、大柄でブロンドのお嬢さんが宮崎空港ロビーに現れた。宮崎西RCのホストによる交換留学生として来日したマー・ライオン・リチャードソン（彼女はアメリカ7320地区ピークスキルRCをスポンサーとして派遣された高校2年生）である。父親は裁判官、母親はアーティスト、妹のゾーイを含め4人家族のロータリアンの家庭で、ニューヨークのゴールデンアップル地区に居住されている。

当日、空港に地区委員として、大坪氏、大江氏、第一ホストファミリーを担当する私の家族と、当年度西RCがスポンサークラブとしてアメリカ・7780地区メイン州ケニブクRCに交換派遣される坂田亜希さん（大宮高校2年生）の6人が出迎えを担当した。

異なる言語、生活習慣の未知との遭遇に不安を感じていないかと、多少の心配があったが、全くの取り越し苦労であった。陽気で、賑やかな人柄に、華やいた歓迎の一時を過ぎた。

我が家を振り出しに、大江氏、前田氏、植松氏の順にホームステイを担当していただいたが、心に残る思い出を紹介してみよう。

ライオンの大宮高校編入に際し、学年とコース選択の協議を校長室で行ったが、先生方の懇切な助言にもかかわらず、本人のたつての希望により、文化情報科2年生編入と決定した。その事は、後々の修学進度に随分支障となったようである。言語の理解力の不足は国語、古



文、日本史にも直接影響した。活字での日本文化理解は大変難しいと、本人の述懐を幾度か開かされた。むしろ、校内クラブ活動（空手・登山）を通じて、学友との交遊を深め、体験学習より学んだことが、よき文化理解となったようである。

今回、大宮高等学校に最大の配慮をいただいたのは、交換留学生としての滞在期間が9ヶ月余と短く、単位取得のための学業日数が不足していたにもかかわらず、特別な計いで見做し単位の取得を許可していただいた。

ご協力に深く感謝している次第である。

家庭生活面では、事前開催の地区委員会の指導に則し、第1日目に我が家の生活上のルールと、彼女の希望が双方納得合意するまで話し合い、ホームステイが始まった、特筆すべきは、彼女が魚以外の肉を絶対食べないことであった。宗教上の理由ではなく、単なる可哀想という情緒的趣好が主な理由である。家内と娘は食事に随分気を遣っていた。或る意味では、我が家の健康管理に貢献していただいた。学校生活に必要な品々は、家族と一緒に整えたが、キティちゃんグッズの収集に目がなく、弁当箱を買い求めた日のはしゃぎ振りは、予想せぬ出来事であった。

空手を始めてからは、夕餉の食卓にフォームを披露し、長身の彼女が放つ蹴りの技、時ならぬ奇声の一声に爆笑したものである。

この頃から、彼女の日本語が際立って上達してきた様な気がする。来日当初、語学力の乏しい彼女のため、英語による意志疎通に努めたがホームステイ終盤の頃は、自ら日本語で積極的に話すようになった。

西RC例会訪問の挨拶文は、彼女自身の労作で、深夜遅くまで推敲を重ねた悪戦苦闘の結



品であったことを報告しておきます。

西RC月見例会、北RC月見例会、JC国際交流フェスタ、宮崎神宮大祭の神輿引き、週末毎の家族との県内日帰り旅行etc…と多くの行事に参加していただいた。

なかでも北RC上山会長宅にホームステイしたアルメンドラ・ティアゴ君（ブラジル）をご夫婦と共に招き、大江氏ご夫妻にも参加して頂いたバーベキューパーティーはホームステイのあり方につき大変良い意見交換の場とさせていただいた。

最後に今回の青少年交換留学に当り、一番頭を悩ませたのは、彼女のお母様の来日であった。

地区委員の指導要綱には、期間中の親の来日は固く禁じているが、西RCの独自の判断により国際親善、国際理解の見地から、お母様の来日を歓迎していただけたのは大変有難かった。心から感謝致しております。

お母様ご自身で各ホストファミリーを訪問挨拶して廻り、実情を見聞していただいた。来日当夜の銀寿司においての歓迎晚餐会で、吉田会長の熱々たるボディランゲージは、通訳のマイケル氏を上回る独演会で、ホスト役の大任を充分果していただいた。

後日ライオンのお母様より深甚なる感謝のお礼状が届いたことを申し添えておきます。

各位のご協力と熱意により西RCホストによる青少年交換留学生の事業の大任が奥様方のご盡力により無事果せたことを心より御礼申し上げます。

就中、マイケル氏には特段のご協力を頂いたことを記しておきます。



第2ホストファミリーとして 大江 幸 政

ライオンが第1ホストファミリーの高見家からわが家に越して来たのは11月の初めでした。いろいろな話は聞いてましたので、お互いのカルチャーギャップにはとまどいはありませんでした。

面白かったのは、座椅子です。わが家の居間はフローリングに絨毯を敷いて、その上にコタツのテーブルと座椅子をおいています。ライオンは座椅子が面白いのか、シーソーのようにギコンバツタンと前後に揺らして遊び、時々後ろにひっくり返ったまま身動きがとれなくなり、ジタバタしている光景がとてもゆかかったです。



11月の中旬に少し寒くなったので、コタツ布団をかけましたが、学校から帰って来たライオンのびっくりした顔は見ものでした。「ワーオ」と言いながら、中が温かいの確認すると、「アメリカには

こんな暖房器具はない。持って帰りたい」などに関心していました。冬の間はほとんどコタツと座椅子で、うたた寝するかビデオを見ていました。

シャワーは頻繁に浴びて清潔好きなのに、部屋はごみだらけ散らかし放題と、へんな癖もありました。

子供っぽい所がありまして、いたずらが大好きで、わが家の犬はおもちゃにされて怖がっていました。サンメッセ日南に連れていった時には、ゴルフカートを運転したいと言うので運転させましたが、曲がりくねった坂道をフルスピードでぶっ飛ばし、妻は悲鳴をあげさせられました。「ノープロブレム」と涼しい顔をして、おちゃめに笑っていましたが、妻はこりこりだったようです。

彼女の印象をひとことで言い表すと「天使の顔をした、悪魔のようないたずらっ子」でしょう。

2人の留学生

前田 暢 俊

我が家では、2人目の留学生を迎えたことになる。2人共アメリカの女子高生である。最初は、17年前に15才で日本に来た、まだ子供のあどけなさが残る何ともういういしい印象を与えたメラニーである。

端正な顔つきだがどこかに不安げな様子をかくしきれないでいる。故郷が恋しいのか、はたまた日本語が理解できないのか、ときおりブルーの大きな目から涙があふれんばかりになる。3ヶ月を過ぎて16才の誕生日を家族で祝った頃から、ようやく笑顔が見られるようになった。メラニーは宮崎商業高校に入学し、帰国前にはたくさんの友人をつくって人気者になっていた。アメリカ人にしては恥しがり屋で控え目な少女だ。だが、いつの間にか達者な日本語を操るようになっていた。

別れを惜しむように帰国して以来、何通かの便りをもらったが、いつも旅先からである。アメリカの住所に手紙を出すのが宛先不明で戻ってくる。技術者である父親の転勤のせいだろうか行方がわからない。それでも4年間は一方向的に手紙が舞い込んできた。その後、昨年までの12年間は音信不通である。折にふれ彼女のことを思い出してきた。

ところが今年の正月に手紙が届いたから吃驚した。写真が同封されている。芝生の前庭に大きな榎の木があり、それを背景に白ペンキの家がある。玄関ポーチに座っているのはまぎれもないメラニーである。結婚したらしい。主人と思われる男性と茶色の犬が一緒である。結婚したとは書いていないが姓が変わっているから多分そうであろう。もう34才になっているはずである。なつかしさと月日の経つのが早く感じられ、過ぎ去った日から逆算して自分の年かさを感慨深く知ることとなった。

手紙には、我々をいたわるたどたどしい日本語が綴られている。恐らく、アメリカで使うことがなかったのだろうか。それにしてもよく忘れずに平かなと漢字を覚えていたと思うと胸のつかえが一層高まって、家内は顔を覆って泣いていた。いやはや、男も年をとると涙もろくなるらしい。

さて、次に登場するのが2番目の留学生ライオンである。百獣の王ライオンと同じスペルだが、背が高く八頭身の美形である。

高見家、大江家について3番目に廻ってきたホームステイであるが、なにしろ日本の生活に馴染むのがはやかったのか、両家のしつけが良かったのか、とにかくメラニーに比べるとアメリカ娘の典型であろうと察せられる。ただ、陽気な日と不機嫌な日が一定の周期でくる



らしい。ときどき豹変する。

ライオンがヒョウに変化するのである。一つには進学校である大宮高校にも起因するらしい。勉強に忙しい生徒が暇をつくってくれないので限られた友達だけになる。この点、同情すべき余地がある。それでも最初の1週間は「眠れる森の美女」らしく静かであったがやがて活発になってきた。眠りから醒めたライオンの如く、身長に比例して大食漢になってしまった。台所と彼女の部屋との往来は

すさまじく、冷蔵庫の扉が過度に開きすぎて冷えるいとまもない。中味は食べ尽されていつも空っぽになってしまう。

我が家はサバンナではないのだが、腹一杯になるとソファーに横たわって悠然とテレビを観ながら眠りにつく。日本人の食生活は彼女にとって腹の足しにもならぬらしい。

われわれ夫婦の食事は炭水化物を主体とした初老期の料理である。脂肪は蛋白質の少ない食生活に馴染むものではなさそうだ。1週間の半分は彼女の好みに合わせた料理とした。この為、夫婦の体型に変化が生じ、家内は丸々となり、小生な下腹が出てきた。あと2ヶ月で次の植松家に移ることになる。この間、多少は我慢することだ。家内は水泳とエアロビクスに、小生はフィットネスに通う。

おかげで運動量は増えたが体重計の針は元に戻らなかった。どうした訳か、スナック菓子が好きでいつも口を動かしている。特にお気に入りメロンパンである。アメリカには無いらしい。「お父さん、これをアメリカで売ると大儲けするよ。」と16才にしては経営理念がしっかりしている。

ライオンは10ヶ月で日本を離れたが、帰国後はアルバイトをして車の免許を取ることにしていた。その後、彼女から1度だけ便りがきたが元気でいるらしい。別便で彼女の母親から頂いた手紙では日本から帰った娘の成長が著しく嬉しく思うと書いてあった。たぶん、17年くらい経ってから、芝生の庭にそびえる大きな榎の木をバックに白い家の玄関ポーチに座ったライオンと主人らしい男と犬をしたがえている写真が舞い込んで来るかも知れない。

その時、私達は逆算して年かさを知りながらまた感慨一しおとなり涙するだろう。もし、彼女が日本の国と日本語を忘れずにいたら。

ライオンのホームステイ

植松真弓(孝一)

ライオンが初めて我が家にやって来たのは小雨の降る4月の日曜日でした。

『こんにちは、ライオンです。』と、しっかり日本語で挨拶しました。我が家は、ホームステイ4軒目でもあり、かなり、日本の生活にも慣れていました。『うちでは、子供達は、パパ、ママって呼んでいるけど、ライオンはどうする?』と聞くと『お父さん、お母さんと呼びます。』と言います。私にとって、『お母さん』と子供から呼ばれるのは、初めてのことで、何だかちょっと、くすぐったいような気分を味わいました。

心配だったのは、ライオンが、肉はまるで食べない、という点でした。聞いてみると、本当に、肉はほとんど口にしないとのこと。将来的には、完全なベジタリアンになりたいと言うことでした。家では、それまで、主人も高校生の息子も肉好きなことから、肉中心の食生活でした。それが、肉が食べられないというライオンを気遣って、豆腐、魚、野菜中心の暮らしになりました。

一番困ったのは、お弁当のおかずでした。魚も日本的な焼き魚や、煮魚はダメで、野菜も煮物はあまり好きではないというので、いろいろと頭を悩ませました。友人に、『ねえ、何か、野菜や豆腐、魚の美味しいメニューなあい?』と聞いては、一緒に考えてもらったりしました。

5月の母の日、夜、ライオンが私に、『お母さん、これ。』と小さな包みをくれました。『何、これ?』と聞くと、『今日は母の日だから…』と、にっこり笑いました。こんなに短い間の母親なのに、なんだか申し訳ない気持ちでしたが、ちょっぴりうれしい母の日となりました。

毎日、学校から帰ると、食事を作る私のそばに座って、いろいろな話をしてくれました。ライオンにとって、アメリカと日本の考え方の違い、生活習慣の違いは、かなりの驚きだったようです。私も、ライオンから聞く『アメリカ』は、今まで本やテレビなどで知っていたものとはずいぶん違っていました。アメリカに帰ったライオンからもらった手紙に、印象的な言葉がありました。

『日本にいるとき、日本おかしい思った。アメリカ帰って、アメリカおかしい思う。』ライオンも、2つの国を見て、いろいろな事を感じたのだと思います。

ライオンの可愛さにふれたのは、ライオンが帰国し、私も成田まで送って行ったので、東京から帰って、ライオンの部屋をのぞいた時でした。彼女が使っていた机の上に、自分で一



生懸命ラッピングしたのでしょ、あまりスマートではないけれど、かわいい包みが何個が置いてありました。開けてみると、私や主人へのプレゼントでした。そんなにお金のかかったものではありませんでしたが、ライオンの気持ちがとても嬉しく思われました。

帰国してから、何回か手紙をもらいましたが、頑張ってる勉強しているようです。ただ、書いてくる日本語が、少しずつ変になってきていて、残念な気がします。やはり言葉というのは、日々、触れていないと忘れてしまうものなの

ですね。

ライオンは、将来、お医者様になりたい、と言っていました。いつか、素敵なお医者様になって、また宮崎を訪ねてくれる日を、心待ちにしています。



初代会長(田崎亀夫)の思い出 田崎高伸

こよなく酒を愛した父でした。1日の診療を終えて、上半身肌になり、ぬれタオルを肩にかけて母を相手に笑顔でビールを飲む父の姿が今でも時々思い出されます。

ロータリーでは職業奉仕が重要な部門ですが、患者さんを大切にしたい医者だと思っています。高い医療費もとらず、他の医師からもっと高くとってくれと注意をうけたこともありましたが。学問の面から云うと、私は父を尊敬していました。私がドイツ語の教科書の両端に新しい単語の訳を書いているのを見て、何も教えないのに自分の学生時代と同じことをしている「親子だなあ」と云ったこともあります。

また父の手伝いをする際メチレンブルーと云う染色液で、細菌を染めていると、「そんなに時間をかけなくてもいいじゃないか、この液の特徴は瞬時に染まることだよ」と教えてくれました。今はほとんどありませんが第4性病の膿(うみ)を満州で毎日毎日雄リスに接種して、世界で初めて病原体を発見したのも父だったとのこと。東京の学会で発表しようとしたところ、東大出の恩師から、東大をさしおいて発表してはならないと云われ、この大切な部分だけカットされたのは、人生で最も悲しかったことの一つだと云っていました。

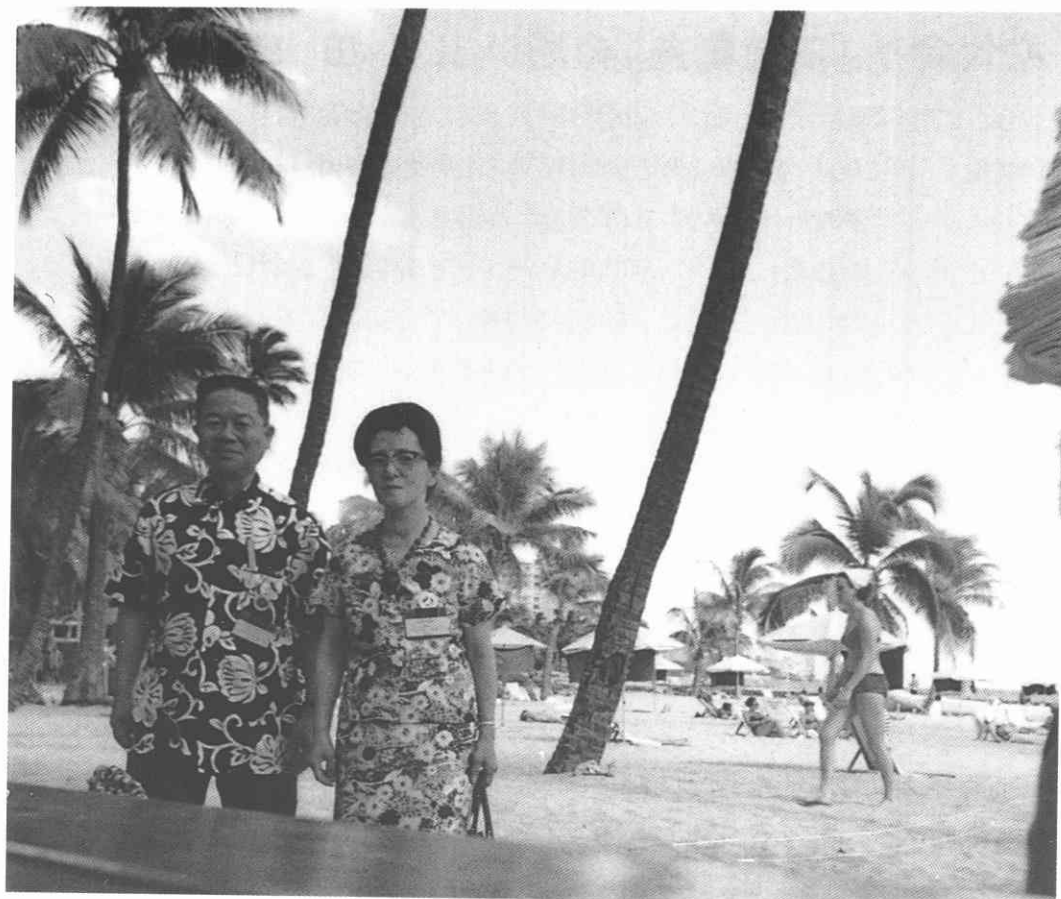
しばらくして、東大伝染病研究所の宮川先生が、ネズミで成功して、第1発見者となり「宮川小体」と命名されました。父の死後私が20年以上も翻訳を依頼されていたハウトアルツトと云うドイツの有名な雑誌に父の論文が引用されていたことにも驚きました。開業医となった後も自分はまだ学問を続けたかったが、お前達を教育するためにこの仕事をしているのだと、何度云われたことでしょうか。

こんな父が生き生きとなったのは、ロータリアンになり、西クラブの会長になってからです。本当にロータリーが好きでした。最初の式典は、しののめ町の当時出来たばかりの医師会館で、大変にぎやかだったとのこと。例会は今はなくなりましたが、橘百貨店の食堂でした。金曜日になると立派なスーツに着替えて嬉しそうに出かけたものです。

ロータリーの精神に基づいてか、スーツは必ずロータリアンの大古殿さん(大丸洋服店)でつくりました。

私が家内を福岡から婚約したいと連れて来た時も2人を例会にさそって皆様に紹介してくれました。国際奉仕月間の卓話にキリスト協会の吉間磯吉牧師を呼んで話してもらったのも印象的でした。外国人も少なかったのです。

5年誌をつくる時には、自分が中心となり毎日構想を練っていました。色々なパッチや認



定証は頼まれて接写レンズを用いて私が撮りました。

ロータリーを愛し、ゴルフを愛し、酒を愛した父だったと思います。

私も父のあとを継いで皮膚科を開業した後、同じ西ロータリーに入会しましたが、初代会長の息子として、多くの方々に愛されて来ました。20年以上になりましたが、父の親友の方々も次々といらっしゃらなくなり淋しさを覚えています。

ロータリーも非常にスマートになって来ましたが、父の時代からの特徴である親睦の精神は大切にしていきたいと思っています。

最後に昭和44年5月には母と一緒にハワイの国際ロータリー世界大会に出席しています。この時のことを書いた父の「ハワイ紀行句集」が手元にあります。写真や地図もあり真面目で几帳面な父の性格が出ています。一句のみ紹介させていただきます。

レイ受けてカメラ涼しく写し合う 茶山（俳号）

西クラブ創立の思い出と所感 宮下 廣 計

宮崎西ロータリークラブが創立をされて40周年の記念式典を祝うことができるのは意義深く、真に有難いことであり、そして何と月日の経つのは早いものだと思感いたします。

昭和35年は、敗戦のショックと荒廃から、日本が漸く立ち直って、池田勇人内閣の経済高度成長政策が軌道に乗って、社会全体が活気を呈して来た時であり、宮崎市に2番目のロータリークラブが創立されるチャーターメンバーに、最年少者として指名を受けて感激をして、新しいロータリークラブ設立の意義を、故池田鋼士郎・志多熊吉・太田良一氏らの大先輩からレクチャーを何回も受けて、若き胸をときめかせました。

明治生れの頑固な気骨と、厳格さで私を教育していた父も、私の入会を無条件で賛同して喜んでくれました。

4月8日から始った例会場は、旧橋百貨店の5階の大食堂の別室で、最初の頃は和室の畳の間でしたが、洋室に改装されました。

金曜日と云う例会日はデパートのバーゲンセールの日が多く、雑踏の中を人を掻き分けて会場に行った記憶が有ります。此の混雑を避けることが、後日、昭和41年に新装オープンされたホテル・フェニックスに例会場が変更された原因になりますが、当時、西クラブの会員であった橋百貨店の後藤則義専務が「クラブの為に会場を折角改装したのにチェンジすることは残酷物語りだよな。」と些か憤満そうに私に洩らしていたことを思い出します。

最初の頃、当時の宮崎交通(株)の岩切章太郎社長がロータリークラブの綱領に就いての造詣深い卓話に感動を覚えました。

会員は僅かに25名で私は、故竹野融会員(元パストガバナー)の下で副・S・A・Aとして会場づくりや、その年の秋に旧医師会館で日向クラブと共に盛大に開催したチャーターナイトの会場づくりに奔走いたしました。何分、不馴れなことなので、設営業者を2社にダブルで発注した事で、前日になって2社とも工事に応じない為に、徹夜で作業をしたことなど失敗点も多いのですが、それらのこともなつかしい思い出であります。

当時は、九州全体が一地区であり、満員の伝達式と祝賀会でありました。

そして、翌36年の5月に、東京の晴海の国際貿易センターで、ロータリー世界の国際大会が華々しく開催されました。故植松熊太郎・田中博規会員らと共に私も参加いたしました。

昭和天皇の独特のアクセントのお祝いのお言葉や、池田総理が祝辞の中で「一国の総理である私と雖もロータリアンになる資格が無い」とロータリアンに敬意を表したユーモアのあ

るスピーチ、世界の各国から民族衣装を纏ったご夫人達の国際色豊かな会議に強い印象が残っています。

昭和39年に東海道新幹線ができ、戦後の日本の復興と驚異的發展を全世界にアピールした東京オリンピックが開催されて、当時の日本の澁刺とした活気が社会に漲っていた状況の頃であります。

宮崎西クラブで創立20周年記念の時に、会長をつとめましたので、ロータリークラブの



目的を再度認識を新たに勉強いたしました。式典の挨拶で論語の「温故知新」の言葉を引用して、昔の事を知って日々新たに見識を深めて発展して行く事を心掛けようとお話いたしました。又、その秋には、全国国体が宮崎で開催されて、ロータリークラブ会長として昭和天皇のお迎えを県庁でいたし、指呼の間で玉顔を拝した光栄に浴しました。

言う迄もなく、宗教・人種・政治・イデオロギーを越えて、人類が平和に共生し、発展することがロータリーの目的であります。今後も、健康に恵まれて、例会で異業種との方々との出会い、親しい友人との人生の語らいで勉強し乍らつとめを果し度い所存です。40年間を回顧して、初代の田崎亀夫会長や数多くの故人となられた会員の方々の生前の面影を偲び、受けたご厚誼に心から感謝してご冥福を祈るものです。

西クラブは若い素晴らしい人達が多くなり、若い会員のバイタリティーに依って、更に立派なクラブとして発展することを期待いたします。

会員の皆さんの、今後とも変らぬ御叱声とご鞭撻をお願いいたします。

インターネット・ホームページ

田崎博俊

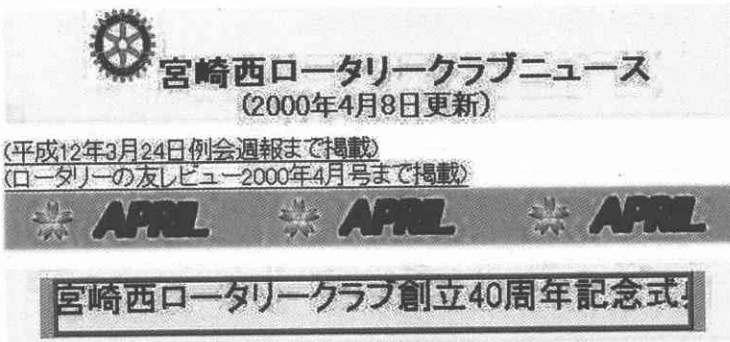
宮崎西クラブは早くからホームページを開設しています。地区内ではもちろん、九州でホームページを持った第一号のクラブです。

現在はホームページを「宮崎西ロータリークラブニュース」として毎週更新しています。

目玉は「宮崎西RC週報」で、ここには週報をほぼ全文掲載しています。メイクアップが続き、なかなか自クラブに顔を出せない会員も、自宅・職場からwebを使って宮崎西クラブの例会の様子を知ることができますので、退会防止にもつながると思います。それにキーワード検索ができますので、例えばガバナーの公式訪問はいつだったかな？ どんなアドレスをされたかな？ といった時も、その時の週報を瞬時に取り出すことができます。現在は、印刷物の週報とweb上の週報の二本立てですが、いずれはペーパーレスの時代が来るのでしょうか？

また、ホームページの「ロータリーの友レビュー」には、会員に配布される以前にロータリーの友の抄録を掲載しています。遠くでは第2820地区（茨城）の東海RC雑誌委員会も、この宮崎西クラブのレビューをインターネットから取り出して会員に配布しロータリーの友の解説をしています。

RIもインターネットの活用を強く求めています。ロータリアンも時代の波に乗り遅れないようにコンピューターで遊びたいものです。
<http://www.c-medic.co.jp/rotary/>



式典と祝賀会スナップ集



リックで声が聞こえます。

創立40周年記念大会会長・竹内三郎PGの挨拶画像ク

宮崎西RC週報

- 毎週の例会での挨拶、卓話を中心に入れています。

ロータリーの友レビュー

- 「ロータリーの友」からの抜粋です。各クラブの雑誌委員長が『友』の解説をされるとき参考になるように、月始めには掲載しています。遠くでは第2820地

『ロータリーの友』に掲載されて

田崎博俊

ロータリーの友(英語版を含む)に掲載記事(1991~2000年)

タイトル一覧

発行年月・号数	タイトル	投稿者
NOV. 1991 VOL.39 NO.11	ファイナルビジターに証明書	田崎博俊
NOV. 1992 VOL.40 NO.11	ロータリー内と外	田崎博俊
MAY. 1993 VOL.41 NO.5	ロータリークラブ定款に見る出席規定の 移り変わり	田崎博俊
OCT. 1993 VOL.41 NO.10	カーンさんへ研究助成金	田崎博俊
JAN. 1994 VOL.42 NO.1	私の卓話と島津 PG	田崎博俊
APR. 1994 VOL.42 NO.4	盲導犬を贈呈	田崎博俊
OCT. 1995 VOL.43 NO.10	つながった青森～鹿児島・宮崎	地区【友】委員田崎博俊
DEC. 1995 VOL.43 NO.12	おめでとう河野景子さん	田崎博俊
【友】英語版 No.44 1996	Congratulation Keiko Kono	Hirotoishi Tazaki
MAR. 1997 VOL.45 NO.3	ホームページ開設	田崎博俊
MAR. 1997 VOL.45 NO.3	【友】へお送りいただいた本/夢と魔法の 王国β	田崎博俊
JUN. 1997 VOL.45 NO.6	今からでも遅くはない	喜島健一郎
AUG. 1997 VOL.45 NO.8	健康ひとくちメモ	村上四朗
OCT. 1997 VOL.45 NO.10	【友】へお送りいただいた本/ロータリー の友レビュー	田崎博俊
DEC. 1997 VOL.45 NO.12	会長が60歳で大学へ	田崎博俊
MAY. 1998 VOL.46 NO.5	新ローターアクトクラブ/ 宮崎西フェニックス・オーシャン	田崎博俊
OCT. 1998 VOL.46 NO.10	RAC 認証状伝達式	田崎博俊
MAY. 1999 VOL.47 NO.5	バングラデシュに診療所を	田崎博俊
MAY. 2000 VOL.48 NO.5	卓話の泉(採用記事)/医薬分業	田崎博俊

会員名簿



氏名 秋山 久
 生年月日 S7. 1. 10
 委員会 社会奉仕
 職業分類 シニア・アクチブ(日本料理)
 勤務先 (有)江戸銀 店主
 中央通2-6 TEL 23-4441
 自宅 月見ヶ丘1-7-4 TEL 51-7285



氏名 阿南 育男
 生年月日 S8. 6. 14
 委員会 国際奉仕
 職業分類 シニア・アクチブ(内科医)
 勤務先 医療法人 社団敬寿会 阿南内科医院 理事長・院長
 清水3-2-50 TEL 25-2255
 自宅 清水3-2-50 TEL 27-8640



氏名 市来 斉
 生年月日 S7. 12. 24
 委員会 会員選考
 職業分類 シニア・アクチブ(外科医)
 勤務先 市来内科・外科医院 院長
 和知川原2-14-2 TEL 25-1888
 自宅 和知川原1-26 TEL 29-0639



氏名 伊集院 宏三
 生年月日 S26. 8. 27
 委員会 クラブ会報
 職業分類 火災保険
 勤務先 住友海上火災保険(株)宮崎支店 支店長
 橋通東1-7-4 第一宮銀ビル6F TEL 31-1211
 自宅 川原町5-10 コスモ川原801 TEL 38-7681



氏名 井手脇 万詔
 生年月日 S19. 10. 8
 委員会 新世代
 職業分類 専門学校
 勤務先 宮崎ビジネスコンピューター専門学校 校長
 高千穂通2-4-37 TEL 27-6502
 自宅 清水3-3-24 TEL 24-8319

会員名簿



氏名 岩城 義博
生年月日 S28. 12. 3
委員会 クラブ会報
職業分類 内科医
勤務先 いわき内科 院長
松橋1-17-29
自宅 松橋1-17-29

TEL 24-2011
TEL 20-6710



氏名 岩切 克宏
生年月日 S14. 5. 23
委員会 会計
職業分類 地方銀行
勤務先 (株)宮崎太陽銀行 常務取締役
橋通西3丁目3番27号
自宅 天満1丁目3-13

TEL 24-2111
TEL 50-5031



氏名 岩切 承自
生年月日 S24. 6. 18
委員会 雑誌
職業分類 書籍販売
勤務先 (有)岩切書店 代表取締役
大字赤江字飛江田942-10
自宅 松山2丁目3-6

TEL 52-5700
TEL 22-6362



氏名 岩切 秀雄
生年月日 S9. 4. 25
委員会 親睦
職業分類 ラジオ放送
勤務先 (株)エフエム宮崎 代表取締役社長
祇園2-78
自宅 大坪東1-22-8

TEL 22-3344
TEL 53-0327



氏名 岩切 宏海
生年月日 S19. 12. 12
委員会 社会奉仕
職業分類 建築設計
勤務先 (株)岩切設計 代表取締役
鶴島1丁目5番28号
自宅 清水3-8-4

TEL 23-4785
TEL 29-4021

会員名簿



氏名 稲倉正孝
 生年月日 S14. 2. 26
 委員会 出席
 職業分類 シニア・アクチブ(胃腸科医)
 勤務先 稲倉胃腸科 院長
 大塚町馬場崎3554-2 TEL 53-1411
 自宅 大塚町馬場崎3554-2 TEL 53-1411



氏名 上園哲朗
 生年月日 S26. 1. 13
 委員会 ローターアクト
 職業分類 音響・映像システム
 勤務先 (株)YOUING<ユーイング>代表取締役社長
 神宮東2丁目3-43 TEL 27-7834
 自宅 神宮東2丁目3-43 YOUINGBILD4F TEL 23-9120



氏名 上田邦雄
 生年月日 S18. 3. 17
 委員会 職業分類
 職業分類 総合設備
 勤務先 日栄産業(株) 代表取締役社長
 花ヶ島町柳の丸546番地 TEL 24-7225
 自宅 阿波岐原町前浜4276番地996 TEL 26-9960



氏名 植松孝一
 生年月日 S27. 2. 5
 委員会 親睦
 職業分類 石油販売
 勤務先 植松石油商事(株) 代表取締役社長
 橘通西4丁目2-30 TEL 22-5105
 自宅 神宮1丁目118番地 TEL 28-5567



氏名 内村龍祐
 生年月日 S8. 5. 14
 委員会 プログラム
 職業分類 シニア・アクチブ(セメント販売)
 勤務先 内村龍祐 橘通連絡所
 橘通西4丁目3-26 TEL 27-7070
 自宅 生目台東1丁目29-3 TEL 55-1887

会員名簿



氏名 衛藤 清隆
 生年月日 S23. 4. 16
 委員会 会員増強
 職業分類 衛生管理
 勤務先 (有)ユウセイ 代表取締役
 大字田吉字東前島2205-4 TEL 53-3286
 自宅 源藤町源藤863-23
 グリーンヒルズマンション504号 TEL 53-0893



氏名 大江 幸政
 生年月日 S25. 10. 5
 委員会 R情報
 職業分類 整形外科医
 勤務先 医療法人幸秀会 大江整形外科病院 理事長・院長
 大橋1-94-1 TEL 25-6300
 自宅 大橋1-62-2 TEL 22-4869



氏名 大藺 英治
 生年月日 S19. 11. 19
 委員会 会員増強
 職業分類 シニア・アクチブ(建築付帯工事)
 勤務先 オーゾノ建材(株) 代表取締役
 大字瓜生野4184-1 TEL 41-0001
 自宅 霧島3-109-1 TEL 26-5815



氏名 大塚 一止
 生年月日 T6. 6. 15
 委員会 インターアクト
 職業分類 シニア・アクチブ(農学研究)
 勤務先
 自宅 希望ヶ丘3-21-30 TEL 56-5307



氏名 小川 次男
 生年月日 T15. 7. 1
 委員会 R情報
 職業分類 シニア・アクチブ(産婦人科医)
 勤務先 小川産婦人科医院 院長
 清水3-1-22 TEL 24-1016
 自宅 清水3-3-29 TEL 28-1527

会員名簿



氏名 押川 幸男
 生年月日 S30. 11. 16
 委員会 親睦
 職業分類 キリスト教
 勤務先 日本キリスト教団 宮崎教会 牧師
 別府町3-14 TEL 28-9533
 自宅 別府町3-14 TEL 28-9533



氏名 小田原 義征
 生年月日 S19. 4. 5
 委員会 職業奉仕
 職業分類 シニア・アクチブ(不動産業)
 勤務先 常盤産業(株) 代表取締役
 南花ヶ島町336-1 TEL 23-7777
 自宅 下北方町常盤元1051 TEL 24-4938



氏名 金丸 憲一
 生年月日 S16. 5. 31
 委員会 副S・A・A
 職業分類 警備保障
 勤務先 宮崎総合警備(株) 常務取締役
 生目台西3丁目4番地2 TEL 50-9191
 自宅 江平東町11-1 パークオーシャン203号 TEL 20-9540



氏名 金丸 憲史
 生年月日 S30. 6. 21
 委員会 社会奉仕
 職業分類 社会保険労務士
 勤務先 金丸労務管理事務所 所長
 鶴島3丁目57番 TEL 22-6300
 自宅 東大宮1丁目14番2号 TEL 28-1732



氏名 川野 良博
 生年月日 S31. 9. 5
 委員会 □-タリー財団
 職業分類 酒類販売
 勤務先 宮崎中央酒販(株) 代表取締役社長
 祇園2-46 TEL 23-5368
 自宅 松橋2-6-33 TEL 22-3368

会員名簿



氏名 神崎 義世
 生年月日 S16. 11. 23
 委員会 社会奉仕
 職業分類 建築工事
 勤務先 神崎建設工業(株) 代表取締役
 神原町63-1 TEL 25-1233
 自宅 和知川原2丁目98-3 TEL 27-8262



氏名 菊池 皓一郎
 生年月日 S5. 5. 2
 委員会 会員増強
 職業分類 シニア・アクチブ(化学肥料販売)
 勤務先 (資)菊池商店 代表社員
 橘通西4-3-29 TEL 24-2243
 自宅 橘通西4-4-25 TEL 24-3091



氏名 菊地 平
 生年月日 S8. 11. 28
 委員会 会長エレクト
 職業分類 シニア・アクチブ(コンピュータ)
 勤務先 (株)エム・オ・エス 代表取締役社長
 島之内6333-3 TEL 30-2323
 自宅 東大宮2-26-31 TEL 24-9298



氏名 喜島 健一郎
 生年月日 S22. 4. 18
 委員会 インターアクト
 職業分類 シニア・アクチブ(薬局)
 勤務先 (株)プロフェッショナルファーマシーズ 代表取締役
 橘通東4丁目6番18号 TEL 32-3277
 自宅 淀川3-2-28 TEL 52-3654



氏名 久保 裕
 生年月日 S33. 8. 5
 委員会 プログラム
 職業分類 茶販売
 勤務先 (有)宮崎美老園 代表取締役
 前原町11-2 TEL 22-2836
 自宅 月見ヶ丘1丁目28番32号 TEL 53-7402
 20-6959

会員名簿



氏名 黒木 寛
 生年月日 S26. 3. 27
 委員会 出席
 職業分類 管工事
 勤務先 二葉設備工業(株) 代表取締役
 清水1丁目13番16号 TEL 28-5678
 自宅 清水1丁目13番16号 TEL 32-2010



氏名 古賀 保
 生年月日 S11. 3. 10
 委員会 クラブ会報
 職業分類 民間放送
 勤務先 (株)宮崎放送 常務取締役
 橋通西4-6-7 TEL 25-3111
 自宅 大塚町樋ノ口1998-3 TEL 51-5290



氏名 後藤 一臣
 生年月日 S29. 7. 16
 委員会 親睦
 職業分類 プロパンガス
 勤務先 東亜ガス(株) 専務取締役
 祇園2丁目58番地 TEL 22-3414
 自宅 大島町南窪772-14 TEL 31-8511



氏名 小林 貞雄
 生年月日 S7. 5. 28
 委員会 会長
 職業分類 シニア・アクチブ(テレビ放送)
 勤務先 (株)テレビ宮崎 代表取締役社長
 祇園町2-78 TEL 31-5222
 自宅 曾師町139 TEL 26-4021



氏名 堺 久
 生年月日 T13. 1. 24
 委員会 職業奉仕
 職業分類 シニア・アクチブ(医薬品販売)
 勤務先 (有)誠調剤薬局 代表取締役
 大瀬町ニクマ2176-5 TEL 41-2722
 自宅 広島1-15-26 TEL 28-2280

会員名簿



氏名 佐原正晃
生年月日 S6. 4. 19
委員会 会員選考
職業分類 シニア・アクチブ(レンタル業)
勤務先 (有)ダスキン佐原 代表取締役
恒久1-3-30 TEL 52-4545
自宅 大字恒久1-3-3 TEL 51-3240



氏名 志多克彦
生年月日 S16. 3. 24
委員会 社会奉仕基金運営
職業分類 シニア・アクチブ(総合建設コンサルタント)
勤務先 (株)国土開発コンサルタント 代表取締役社長
大工3-155 TEL 24-6487
自宅 江平東1-7-29 TEL 26-1808



氏名 柴田博文
生年月日 S21. 7. 7
委員会 社会奉仕基金運営
職業分類 ビル管理
勤務先 第一ビル管理(株) 代表取締役
吉村町大町甲1990 TEL 24-6667
自宅 原町3-3 TEL 27-8626



氏名 白石民彦
生年月日 S28. 8. 15
委員会 クラブ会報
職業分類 企業保険
勤務先 住友生命保険相互会社 宮崎支社 支社長
高千穂通1-6-35 TEL 26-1611
自宅 川原町5-12 コスモ川原502 TEL 090-8658-3550



氏名 新恵誠
生年月日 S2. 9. 2
委員会 職業分類
職業分類 シニア・アクチブ(防災設備)
勤務先 (株)ホーチキ宮崎 代表取締役
桜ヶ丘25-4 TEL 47-1230
自宅 桜ヶ丘25-4 TEL 47-6148

会員名簿



氏名 鈴木敏道
 生年月日 T14. 6. 30
 委員会 R情報
 職業分類 シニア・アクチブ(男子服販売)
 勤務先 すべや 代表取締役
 月見ヶ丘1丁目7-9 TEL 52-7250
 自宅 月見ヶ丘1丁目7-9 TEL 52-7250



氏名 高見忠典
 生年月日 S8. 2. 3
 委員会 プログラム
 職業分類 シニア・アクチブ(葬祭)
 勤務先 総合葬祭みやそう 代表取締役
 江平東1丁目7番40 TEL 25-4444
 自宅 花殿5-4 TEL 32-5015



氏名 竹内三郎
 生年月日 T10. 8. 9
 委員会 世界社会奉仕
 職業分類 シニア・アクチブ(病院)
 勤務先 竹内病院 院長
 霧島2-260 TEL 26-0123
 自宅 霧島2-138 TEL 24-6550



氏名 武田順一
 生年月日 S24. 12. 18
 委員会 新世代
 職業分類 保険代理店
 勤務先 (有)日の丸保険センター 代表取締役
 和知川原1丁目24-2 TEL 24-1432
 自宅 和知川原1丁目24-2 TEL 27-3624



氏名 田崎高伸
 生年月日 S13. 5. 26
 委員会 社会奉仕基金運営
 職業分類 シニア・アクチブ(皮膚科医)
 勤務先 田崎医院 院長
 高松町4-42 TEL 23-2861
 自宅 高松町4-42 TEL 22-0139

会員名簿



氏名 田崎博俊
 生年月日 S24. 5. 13
 委員会 広報
 職業分類 薬剤師
 勤務先 センチュリーメディック(株) 代表取締役
 高松町4番40号 TEL 28-9629
 自宅 原町9番1号 TEL 29-0616



氏名 暉本秀雄
 生年月日 S27. 8. 18
 委員会 クラブ会報
 職業分類 広告取扱
 勤務先 (有)ザ・OFFICE 代表取締役
 新別府町前浜1401-19 TEL 26-6525
 自宅 新別府町前浜1401-19 TEL 29-3904



氏名 外山三博
 生年月日 S14. 11. 6
 委員会 R財団
 職業分類 シニア・アクチブ(酒類製造)
 勤務先 トヤマ産業(株) 代表取締役
 下北方町平の下5200-2 TEL 27-0124
 自宅 大字新名爪1288 TEL 39-2292



氏名 長崎康啓
 生年月日 S25. 8. 8
 委員会 雑誌
 職業分類 印刷業
 勤務先 (株)長崎印刷 専務取締役
 船塚町1丁目23番 TEL 25-8262
 自宅 大塚町京園3101 TEL 51-4853



氏名 長友敬治
 生年月日 S30. 10. 23
 委員会 ローターアクト
 職業分類 旅館
 勤務先 (有)ホテル浜荘 常務取締役
 吾妻町151 TEL 24-3019
 自宅 吾妻町61-2 TEL 32-2629

会員名簿



氏名 中野 義之
 生年月日 S29. 3. 5
 委員会 クラブ会報
 職業分類 証券業
 勤務先 日興証券(株)宮崎支店 支店長
 橘通西4-1-32 TEL 24-5151
 自宅 丸山1丁目175番地 セレスト宮崎901 TEL 32-8571



氏名 中村 浩
 生年月日 S7. 5. 20
 委員会 会員選考
 職業分類 シニア・アクチブ(ホテル)
 勤務先 フェニックス国際観光(株) 代表取締役副社長
 大字塩路浜山3083 TEL 39-3131
 自宅 下北方町戸林5350-1 TEL 25-7916



氏名 西岡 恒之助
 生年月日 S2. 6. 11
 委員会 新世代
 職業分類 シニア・アクチブ(酒類販売)
 勤務先 (名)西岡雄一郎商店 代表社員
 上野町2-16 TEL 27-3311
 自宅 上野町2-16 TEL 27-3311



氏名 西岡 昌志
 生年月日 S30. 11. 23
 委員会 副幹事・出席
 職業分類 食料品卸
 勤務先 (株)西岡商店 代表取締役
 港東1丁目7番4 TEL 29-8100
 自宅 吉村町別府原甲1671-17 TEL 25-3205



氏名 橋本 善吉
 生年月日 S2. 5. 11
 委員会 雑誌
 職業分類 シニア・アクチブ(洗剤販売)
 勤務先 (株)リエンケミカルハシモト 代表取締役社長
 橘通西5-3-24 TEL 22-2898
 自宅 神宮1-22 TEL 24-6970

会員名簿



氏名 浜 砂 猛 敏
生年月日 S4. 12. 20
委員会 職業奉仕
職業分類 シニア・アクチブ(都市ガス供給)
勤務先 宮崎ガス(株) 代表取締役社長
阿波岐原町野間311-1 TEL 39-3911
自 宅 大字赤江545-29 TEL 53-7121



氏名 林 務
生年月日 S22. 10. 11
委員会 世界社会奉仕
職業分類 土木建設
勤務先 林産業(有) 代表取締役
丸山2-291-1 TEL 24-6523
自 宅 丸山2-291-2 TEL 26-1705



氏名 日 高 三 朗
生年月日 S25. 7. 29
委員会 インターアクト
職業分類 和食料理
勤務先 (有)海幸大和 代表取締役社長
大和町39-1 TEL 28-1234
自 宅 丸山2丁目78-6 TEL 22-6598



氏名 日 高 照 雄
生年月日 S7. 1. 30
委員会 国際奉仕
職業分類 シニア・アクチブ(時計・貴金属販売)
勤務先 (資)日高時計宝飾店 代表社員
橘通西3-10-36 TEL 24-4757
自 宅 神宮西1-38 TEL 24-4758



氏名 日 高 久 夫
生年月日 S26. 4. 5
委員会 クラブ会報
職業分類 菓子
勤務先 お菓子の日高 代表取締役
橘通西2-7-25 TEL 25-5300
自 宅 元宮町8-40-1 TEL 25-2772

会員名簿



氏名 日高 均
 生年月日 S29. 4. 3
 委員会 幹事
 職業分類 電気器具
 勤務先 (株)白陽 代表取締役
 高千穂通1丁目3番26号 TEL 27-6131
 自宅 小松台西2丁目10-10 TEL 47-7715



氏名 日高 文雄
 生年月日 T14. 7. 20
 委員会 R情報
 職業分類 シニア・アクチブ(自動車販売)
 勤務先 (株)マツダアンフィニ宮崎 代表取締役社長
 大塚町池之内1076番地 TEL 47-2121
 自宅 下北方町井手下南25-2 TEL 25-1555



氏名 MICHAEL INDIGO
 生年月日 S44. 7. 1
 委員会 プログラム
 職業分類 旅行代理業
 勤務先 パシフィック・インターセクト(株) 代表取締役
 永楽町212-1 TEL 62-0031
 自宅 橘通東4丁目3-8 草葉会館501 TEL 29-2021



氏名 前園 善彦
 生年月日 S14. 1. 13
 委員会 副会長
 職業分類 シニア・アクチブ(清涼飲料)
 勤務先 岩下産業(株) 代表取締役社長
 橘通西3-9-11 TEL 24-1201
 自宅 橘通西3-9-11 TEL 24-1201



氏名 前田 暢俊
 生年月日 S12. 8. 3
 委員会 国際奉仕
 職業分類 シニア・アクチブ(建築事務所)
 勤務先 (株)前田設計 代表取締役
 神宮1丁目237番地 TEL 25-1141
 自宅 下北方町高下6121-4 TEL 27-2790

会員名簿



氏名 前畑 智之
生年月日 S28. 9. 23
委員会 親睦
職業分類 内装工事
勤務先 宮崎ユニット工業(株) 代表取締役
阿波岐原町2580番地 TEL 27-3220
自宅 大島町笹原1971番地 TEL 29-5559



氏名 牧野 明
生年月日 S30. 1. 31
委員会 R財団
職業分類 保健施設
勤務先 医療法人・社会福祉法人 慶明会 本部長
清水3-6-10 MMKビル2F 慶明会本部 TEL 29-6465
自宅 桜ヶ丘町26-26 TEL 47-9725



氏名 増田 秀文
生年月日 S26. 4. 2
委員会 出席
職業分類 総合建設
勤務先 (株)増田工務店 代表取締役社長
南花ヶ島町185 TEL 28-3636
自宅 神宮1-128-2 TEL 29-9653



氏名 松原 和夫
生年月日 S12. 3. 12
委員会 ローターアクト
職業分類 シニア・アクチブ(歯科医)
勤務先 松原歯科医院 院長
橘通西4丁目1-30 TEL 28-1166
自宅 霧島4-70 TEL 24-2123



氏名 宮下 繁一郎
生年月日 S29. 10. 7
委員会 S・A・A
職業分類 呉服販売
勤務先 (株)宮下呉服店 代表取締役
橘通西3丁目3-24 TEL 27-3219
自宅 大工1丁目10-12 TEL 28-4178

会員名簿



氏名 宮下 廣計
 生年月日 T15. 4. 8
 委員会 国際奉仕
 職業分類 シニア・アクチブ(呉服販売)
 勤務先 (株)宮下呉服店 会長
 橘通西3丁目3-24
 自宅 大工1-8-22
 TEL 27-3218
 TEL 24-0715



氏名 村上 四朗
 生年月日 S8. 7. 3
 委員会 親睦
 職業分類 シニア・アクチブ(総合建設)
 勤務先 吉原建設(株) 専務取締役
 大字本郷北方2520-5
 自宅 大字本郷北方2520-120
 TEL 50-7000
 TEL 50-6337



氏名 森重 勝雄
 生年月日 S24. 4. 7
 委員会 職業奉仕
 職業分類 塗料販売
 勤務先 もりしげ塗料(株) 代表取締役社長
 阿波岐原町前浜4276-447
 自宅 阿波岐原町前浜4276-446
 TEL 24-8653
 TEL 24-8653



氏名 山口 賢一郎
 生年月日 S22. 1. 15
 委員会 親睦
 職業分類 水産加工
 勤務先 山口商店 代表社員
 橘通西2丁目2番10号
 自宅 橘通西2丁目2番10号
 TEL 27-2010
 TEL 32-3261



氏名 矢野 温三
 生年月日 S6. 6. 3
 委員会 職業分類
 職業分類 クレジットサービス
 勤務先 (株)宮崎信販 代表取締役社長
 高千穂通1-3-30
 自宅 神宮1-205
 TEL 28-2511
 TEL 28-1893

会員名簿



氏名 矢野 政 男
生年月日 S15. 6. 2
委員会 親睦
職業分類 商業銀行
勤務先 (株)宮崎銀行 常務取締役
橋通東4-3-5 TEL 27-3131
自 宅 月見ヶ丘1-31-10 TEL 53-1874



氏名 油谷 恭 平
生年月日 S29. 11. 4
委員会 クラブ会報
職業分類 綿製品販売
勤務先 (有)野呂商店 代表取締役社長
橋通西5-4-10 TEL 27-1752
自 宅 東大宮2-15-32 TEL 26-2990



氏名 吉賀 幸 夫
生年月日 T3. 9. 17
委員会 会員選考
職業分類 シニア・アクチブ(病院)
勤務先
自 宅 清水1-5-22 TEL 25-4771



氏名 吉田 信一郎
生年月日 S26. 9. 23
委員会 親睦
職業分類 農業資材販売
勤務先 (株)吉田喜五郎商店 代表取締役
江平中町7-2 TEL 24-1241
自 宅 江平町1丁目2-9 TEL 22-7380



氏名 吉田 多 毅
生年月日 S12. 10. 24
委員会 社会奉仕基金運営
職業分類 シニア・アクチブ(土木設計)
勤務先 建設コンサルタント 九州工営(株) 代表取締役
大工2-117 TEL 28-1122
自 宅 桜ヶ丘町30-19 TEL 47-6323

宮崎西RC 創立40周年記念大会 実行委員会組織図



編集後記

当クラブ創立40周年の節目にあたっての記念誌の編集という大役をいただき、アドバイザーの大塚一止さん、副委員長の岩切承自さんら10名のメンバーで6カ月余りにわたって携わって参りました。

記念誌の内容は、発会当初のチャーターメンバーからの思い出や過去の記念誌を参考にして、この10年間に当クラブで取り組んできた歩みとして、竹内三郎ガバナー年度の地区大会、バングラデシュへの病院建設、ローターアクトクラブの創設などといった活動の内容を記録し、永遠に残していくものと考えました。

また、4月7日の式典当日の様子を、できるだけ多くの写真を盛り込んで、会員の皆さんに楽しく思い出していただけるようにと考え編集し、記念誌と合わせて初のCD-ROMとしても発行させていただきました。

しかし一方で、この記念誌の編集作業にあたり、不慣れなため意を尽くさない点も数々ですが、ロータリー精神の限りない発展の一里塚としてお許しをいただければ望外の幸せです。

終わりに、この記念誌の編集・発行にあたり細部にわたってご助言、ご協力をいただいた実行委員の林務委員長をはじめ各委員会の皆さん、中でも事務局の横井さんに衷心より感謝申し上げる次第です。

平成12年6月

記念誌委員長 金丸憲史

創立四十年

平成12年6月30日 発行

編集者 宮崎西ロータリークラブ四十年史委員会

発行者 宮崎西ロータリークラブ

宮崎市宮田町10番25号 宮田町ビル内

印刷 株式会社 長崎印刷

宮崎市船塚1丁目23番地